

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(123)、(156)」

2. 日時：令和4年7月13日（水）16時00分～19時55分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、大井安全審査専門職※、馬場係員※、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他9名※

電力中央研究所 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・審査資料の品質確認について（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）（補足説明資料）

<<本年7月1日に受取済み>>

- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）補足説明資料
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）データ集

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁ニシキです。時間になりましたので、本日のヒアリングの方を始めたいと思います。
0:00:08	本日のヒアリングですが浜岡原子力発電所敷地のC i s c o等のコメント回答ということで
0:00:16	始めたいと思います。それでは説明の方を中部電力よりお願いいたします。
0:00:23	チーム電力アマノでございます。今年の3月18日に実施いただきました第1035回審査会合でいただきましたコメントにつきまして、回答を
0:00:35	用意して参りましたのでご説明をさせていただきたいと思います。敷地の地質地質構造について、1回目ということで丁寧に説明させていただきたいので50分今日お時間いただきたいと思いますよろしく願いいたします。
0:00:52	中部電力の森本でございます資料をご説明いたします。
0:00:56	資料手元3000冊でお渡ししておりますが、市橋238BR00、こちらが販売資料になりますのでこちらから説明いたします。
0:01:07	1ページをお願いします。
0:01:09	浜岡敷地の地質についての資料構成、資料各省における検討内容を記載しておりますが、本日は一番下の赤字の箇所、ページ9断層の最新活動時期について、
0:01:20	特に上載地層の堆積年代評価の部分を、コメントを踏まえ見直して参りましたので、この部分を抜粋して説明いたします。
0:01:29	次3ページですけれども、
0:01:31	こちらが3月の会合でいただいたコメントになります。上の二つ、地球の上載地層についてのコメントへの回答が、本日のものでございます。
0:01:42	5ページ、まず、コメントを踏まえた検討方針、追加検討内容、前回説明内容からの変更点についてここからご説明させていただきます。
0:01:54	6ページになりますが、コメントとしてはですね左の表の左側、
0:01:59	まず上側の部分ですけれども、古谷泥層との対比にあたって、ポイントとなるいくつかの観点とともに、それらを踏まえても整合のとれた説明をするようにというご指摘をいただいております。
0:02:11	また表の下側2番のところになりますけれども、
0:02:14	より新しい地層との違いを示し、堆積年代の説明性向上を求めてまとめられておりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	表の右側に検討方針を記載しておりますが、こちらは5月の会合でご説明した内容になります。
0:02:30	次はですね7ページ。
0:02:32	2、具体的なコメント回答の流れを示しております。
0:02:37	前回会合でのコメントを踏まえまして、①から⑤のステップに分けて、それぞれの検討から、P F M時点でその堆積年代評価を説明させていただきます。
0:02:50	まず①から④のステップで、B F 4角泥層が御前崎地域に広域に分布する、D種堆積物ある古谷泥層、これに対比されることについて説明いたします。
0:03:02	下に模式図で示しておりますが、まず最初に①として、地形層状解析から、地形学的な観点で、御前崎地域に広域的に分布する地層のうち、
0:03:13	B F 4地点の泥層に対比される可能性が高い第4紀層はどうかという検討をした上で、
0:03:18	その結果ピックアップされてくる古谷泥層、
0:03:21	笠名礫層に対しまして、②のステップで模式的な地点の調査データをご説明いたします。
0:03:29	③として、
0:03:31	フランスの泥層と古谷泥層笠名礫層を、まず層相で比較してやって、P F Pの泥層が対比される可能性地、可能性が高い実装層状はどこなのかと。
0:03:43	いう検討をして、その結果、対象となってくる古谷泥層の株に対しまして、最後④のステップで、試料分析等から定量的にも対比できることを確認すると。
0:03:54	いう流れでございます。
0:03:57	以上④までの、優待結果からですね古谷泥層株にしっかり対比できるんだというところを一通りお示した上で、さらに⑤として、B F 内野泥層、敷地の陸駅泥層だとか、
0:04:10	M I S 5 cに堆積すると想定される泥層とも異なることについてもお示しして、これらの結果も踏まえまして最終的な結論。
0:04:18	温泉の泥層は古谷泥層カーブに対比されるM I S 5 eの堆積物だという評価をご説明させていただきます。
0:04:27	8ページ、ごめんなさい。
0:04:30	4ページに少し資料戻りますけれども4ページに目次としてですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:37	資料の構成を示しておりますが、(3)のBF4地点の泥層の堆積年代評価、こちらにつきましては今ご説明した①から⑤のステップを順に
0:04:48	説明するという構成に、今回見直しを行っております。
0:04:54	また資料先進みまして8ページ。
0:04:57	コメント回答にあたって登場する調査地点と、こことここを比べることが、どのコメントがイトウに該当するのかというのを整理したスライドでございます。5月の会合でも説明させていただきました。
0:05:09	本日の資料ではBfSの泥層からいるやや読み伸びている矢印の内容というのは、
0:05:15	Lsoで年代評価に直接的に関わりますので、本編資料の方にまとめてございます。
0:05:21	下の赤枠、BF4地点のごく近傍の礫層、こちらから伸びている、破線の矢印になりますが、
0:05:30	こちらはH9断層の活動性評価に用いていない礫層年代評価になりますので、こちらに関しては補足説明資料の方でまとめております。また後程ご説明します。
0:05:43	次の9ページは、今回コメント回答に当たりまして追加した調査の概要でございます。
0:05:49	古谷泥層の調査としては、まず引き継ぎにおいて、底層下部の、層準、こちらを重点的に調査しようということで露頭調査を行っております。
0:06:00	今回露頭から採取した資料による分析結果を踏まえまして比木地点の古谷泥層下部の花粉層状の細分化を行っております。
0:06:09	また品質院ではですね従来、下部層状の中心に、火山灰分析だとか微化石分析を行ってございましたが、
0:06:16	古谷泥層の堆積環境について、上部層まで含めて検討するために分析範囲を上まで拡大しております。
0:06:25	また会合ですとカイヤさんからもご指摘いただいておりますが、新たにCMS分析を実施いたしまして、基礎データの拡充を図っております。
0:06:34	続いてBF1地点ですけれども、花粉分析、微化石分析を行う調査箇所をこちら追加いたしまして、
0:06:41	品質点同様花粉層状の細分化についても検討するとともに、
0:06:46	BF1地点の特徴でありました。ここだけ珪藻が上に出ている要因についても検討を行っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:53	ここでもC N - S分析は追加実施しております。
0:06:59	次10ページになりますが、こういった追加分析検討の内容を踏まえまして、3月の会合から変更した主な内容をまとめております。
0:07:07	まずBFMとしての泥層の堆積年代評価の説明についてですけれども、
0:07:12	従来古谷泥層との対比にあたっては、BF4地点の調査結果から、堆積環境を推定して、化石の産出状況等、古谷泥層と違う点については、地点ごとに個別に考察を行ってございました。
0:07:25	今回ですけれども、地形層序解析により、
0:07:29	ビー・エム・エルの泥層が対比される可能性が高い地層がどこだというのを広域的に特定した上で、
0:07:34	これらの地層模式的に、模式的な地点で詳細に調査し、
0:07:41	その結果も踏まえて、BF4地点の泥層との対比を行って年代を評価していくという説明の流れに構成の見直しを行っております。
0:07:51	続いてBFM0-Aの堆積環境についてですけれども、従来は海水面河成水環境にある、
0:07:58	比較的大きい水深で堆積したという趣旨の説明をしておりましたが、今回古谷泥層の堆積環境の変遷をより詳細に分析いたしまして、
0:08:08	その結果獲られた花粉層状の細分化等も踏まえまして、PFM瀬野泥層古谷泥層の森谷井関層にあたる層準に対比されると。
0:08:17	いう説明に見直しを行っております。
0:08:24	蛸原津野泥層も同様にですね、改修に伴い市に杉下小原において、堆積したという考察を行っております。
0:08:34	引地島の古里層相の違いにつきましても、従来は両方で層相が異なるという説明でしたが、今回比2地点の露頭で、より詳細に層相観察、細分化して確認したところ、
0:08:48	PF Rの泥層と類似したりミットの確認を、をしております。
0:08:53	最後花粉だとか微化石が、ほとんどBFMから検出されないという要因について、従来は風化の影響によるものという説明をしておりましたが、
0:09:03	今回古谷泥層の花粉層状の細分化によりまして、風化というよりも花粉の少ない層準に当たることが影響していることを確認しております。
0:09:13	また微化石についてもですね貧化石体に当たっていて、BF1地点で比較的を加算する珪藻についても、局所的な、堆積場の変化が、
0:09:23	提供していると考えられることを確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:27	大きくは以上のような見直しを行っております。この辺りにつきましては細かい変更点とともにですね、この後具体的に説明いたします。
0:09:36	11 ページからが、以上の変更内容を反映したコメントを取り込んでですね、コメント回答資料となっております。
0:09:45	資料の構成としては、先ほども目次でご説明した通りでございます。
0:09:51	まず最初に、13 ページ。
0:09:54	になります。地球断層が上載     しっかり押さえられているかについてこちらの章で説明をしております。こちらに関しては従来の後ろから大きい変更は、
0:10:06	ございません。
0:10:07	14 ページになります。BF4 地点というところで地球断層が地表付近で確認できておまして、その上に乗っている泥層との関係を確認した結果が、
0:10:19	例えば 21 ページ。
0:10:21	少し飛びますが、にスケッチと写真を載せております。
0:10:26	D さんは基底面に断層による変位変形がないことを確認しております。
0:10:34	続いて 25 ページからの内容になります。その泥層どういったものなのかということで分布と層相の観察結果をこちらに示しております。
0:10:44	ここも前回の説明から大きい変更はございません。26 ページの内容になります。
0:10:50	泥層は南北にあったトレンチで連続して確認できておまして、相良層との不整合面付近に、扁平な円礫、硬岩ベキですけれどもこれを含んでおります。
0:11:01	分布標高が 50 メートル弱のところでございます。層厚が 1 メートル程度でございます。
0:11:07	前回資料ではですね力のことを基底礫という記載をしておりましたけれども、基底付近に認められるべきのことを言っておまして、厳密にその不整合面直上の利益ではございませんでしたので、
0:11:20	今回、表現は適正化し適正基底礫という表現は、見直しております。
0:11:28	礫まじり汁等の利益のことを言っているというものでございます。
0:11:35	少し飛びますが 31 ページ、泥層の層相を泥層層相をですね詳細に見ておきますと、
0:11:43	相良層との整合面付近、ベキを含んでおまして礫まじりシルトでございますが、上部では、シルトから粘土との利益が抜けている。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:54	という、層相でございます。
0:11:56	女性方面等はなくでですねよりの堆積構造もないと行き諏訪海上無層理でございます。
0:12:03	また目視で確認できるような火山灰層、甲斐などの化石というのはなかったというものでございます。
0:12:11	次の32ページがまとめでございます。
0:12:15	前回資料ですとこの後ですね泥層中の火山灰分析だとか、花粉分析結果をご説明しておりますが、まずは一旦分布度層相についての監査事実をここでまとめております。
0:12:28	火山灰の分析結果、古谷泥層と対比のところで、また登場しますので、登場するという構成に今回見直しを行っております。
0:12:41	次33ページになりますが、ビー・エム・エルの泥層の堆積年代評価についての資料になります。こちらはコメント回答のメインになるかと思えます。
0:12:53	次の34ページ、先ほど冒頭ご説明した、この町ですね説明の流れを検討の概要として示しております。
0:13:02	まず最初に地形層序解析をやってその結果ピックアップされる古谷泥層笠名礫層に対して、
0:13:09	まず、②として模式的な地点の調査結果をしっかりと示した上で、
0:13:15	③のステップで、まずは層相で比較して、
0:13:19	対される可能性が高い五つはどこなのかという検討を行っております。
0:13:24	さらに、④のステップで、試料分析結果等も踏まえて定量的に、しっかりと対比できるんだということの確認を行っております。
0:13:34	こういった中で古谷泥層株にしっかりと対比できるんだというところを一通りお示しして、最後⑤のステップで、局所的な泥層とも違うというところをご説明していく流れでございます。
0:13:50	ということで36ページまず地形層序解析について、
0:13:54	ですが、
0:13:55	5月の会合では、結果の概要だけご説明しておりましたが、検討内容も含めて、今回資料化して参りました。
0:14:04	37ページが検討内容でございます。
0:14:07	でもデータ等を用いまして段丘面の減免が残っていると判断される範囲をですね地形判読により抽出しております。
0:14:16	判読図が左側になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:19	抽出対象ですけれども 5 e の牧ノ原面を椎野を笠名面をの御前崎面としております。
0:14:27	この平面図上のですね'の投影線。
0:14:31	に赤破線で示した範囲のですね標高値をセイシャ投影したものが、
0:14:37	こちらのスライド右下図になります。
0:14:40	このうちですね段丘面と判読されるデータに着色したのが次の 38 ページ。
0:14:46	になります。
0:14:49	語彙の牧ノ原面をピンクを椎野笠名面を茶色越えの御前崎面を紫って示しておりますけれども、
0:14:56	横軸で言いますと 1.8 キロメートルぐらいの手にある B F 4 地点、
0:15:01	ここですね標高 50 メートル、これが泥層の分布標高になりますが、
0:15:06	重ね笠名面より低くて御前崎面より高いと。
0:15:10	ということがご確認いただけるかと思えます。
0:15:13	また文献に示される古谷泥層と相良層の不整合面もここに合わせて示しておりますが、これも概ね同標高と、
0:15:21	いう結果でございまして、
0:15:23	御前崎地域に広域的に分布する地層のうち、B F 4 地点の泥層に対する可能性が高い第 4 紀層というのは、古谷泥層の株俣笠名礫層であると。
0:15:33	ことを確認しております。
0:15:37	39 ページは、敷地周辺の調査結果に基づく段丘面の区分 T H A I 表になります。
0:15:45	40 ページになりますが、こちらはですね、御前崎地域、長期的に見れば隆起しておりますのでその隆起過程等海水準変動からも同様のことがいえると。
0:15:59	いうことを確認したもので、
0:16:01	ございます。
0:16:03	御前崎地域の合意の海成層のトップがですね京松原砂層の上限になりますので、
0:16:09	紫色の比木地点で確認した、今日松原砂層の上限標高から算出した隆起速度、これを B F 4 地点の表 50 メートル、
0:16:21	地点の流域過程という推定に用いますと、黒で示し、
0:16:28	へえ。
0:16:29	村崎をもとに、赤の破線を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:33	隆起過程として推定しておりますと、黒で示しております甲斐俊準変動曲線との上下関係を、
0:16:40	見てると、
0:16:42	B F 4 末に分布する地層というのは局所的な堆積物を除けば、
0:16:46	A B C で、A B C D で示しておりますが、合意の開始位置の堆積物、オオイの降灰免許の堆積物、
0:16:55	E から D の相対系の堆積物、講師の高海面期の堆積物のいずれかに限られるということで、先ほど地形層序解析結果でご説明した内容と整合的な結果がえられております。
0:17:12	41 ページは以上の内容をまとめ地形層状解析のまとめとして示しております。ディーエムエスの泥層に対比される可能性が高いのは、古谷泥層株価笠名礫層だと。
0:17:23	いう結果ですので、続いて、P F R T - 泥層との比較対象として、これらの地層の詳細な調査を、をご説明いたします。
0:17:33	それが 42 ページからの内容でございます。
0:17:37	また 43 ページから古谷泥層の調査についてです。
0:17:42	44 ページは、冒頭説明した、古谷泥層の調査内容、追加調査分がどこなのかという、
0:17:51	差分とともにですね説明したスライドになります。先ほどご説明した通りです。
0:17:59	45 ページ、まず文献調査結果になりますが、古谷泥層 5 e の会新規の方に埋め堆積物と、
0:18:08	されております。またその堆積層からですね、歴史相撲上河川総合リーダー儀間井関層、内湾定数ワーク△そうを大きく四つに分類されまして、
0:18:19	その堆積環境というのは、
0:18:21	低海水準期に形成されたタニが、回収に伴ってですね沈んだおぼれ谷から、
0:18:29	湾口バリアの陸側の内湾の底。
0:18:34	湾奥に発達してる体と変化したことが指摘されております。
0:18:41	続き 46 ページは、こちらの文献の内容になりますが、古谷泥層株の層相だとか、堆積環境非化石体についての知見でございます。
0:18:51	一番上の箱層相についてですけれども、下部の歴史も浄化戦争。
0:18:56	トータル r e 礫層からんなっております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:01	尾花イマイ関層というのは、
0:19:04	礫層から始まって、正解色の細粒砂層と泥層からなると。
0:19:10	されております。
0:19:12	また古谷泥層最下部の礫層というのは加来駅から見ると、比較的角ばった駅からなるといふ知見もございまして、
0:19:19	この層準というのは歴史も浄化戦争と。
0:19:22	されております。
0:19:24	左下新しい堆積環境、どういったタニでたまったのかという知見ですけれども、
0:19:30	長田市では07によりますと、古谷泥層の埋積国として、ダイイチの牧ノ原大臣なりにおいては二つの谷地形が指摘されております。
0:19:42	別の文献ではですねさらに詳細なコンター図も示されてございまして、この長田さんの示されている、
0:19:50	難病の単一系とは別の、
0:19:52	小規模な類型を持つタニ地形が示されております。
0:19:56	また後でご説明しますがBF4だとかBF1というのはこのタニ1の中に入っているというものでございまして。
0:20:03	この右下貧化石体についての技術でございまして、
0:20:09	古谷泥層の小原儀間井関層というのは貝化石だとか、生物擾乱が見られないということで、
0:20:15	生物の生息に適さない環境であったという知見もございまして。
0:20:20	また有効中、微化石に関してもですね、
0:20:25	小椋イマイ関層についての知見もございまして、
0:20:29	有効中の化石の産出が示されていないということを確認しております。
0:20:35	こういった知見も踏まえてですねプレスの調査を47ページから説明しております。
0:20:45	調査地点としてはですね従来の通りでございまして、古谷泥層、ごめんなさい。牧ノ原段丘堆積物が標準的に堆積していて、なおかつK1火山灰層の露頭が報告されている比木地点、
0:20:59	それから先ほど河内でご説明しましたけれども、BF4地点、
0:21:04	と、比木2地点とは別の谷地形に位置しますので、
0:21:08	BF4地点と同じ単一期限内にある古谷泥層ということでBF1地点を調査地点に選んでおりますこの2ヶ所で調査を行っております。
0:21:19	分析項目としては右箱に示す通りでございまして。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:25	まず、模式的な地点ということで 48 ページからは、比木地点の調査結果についてまとめたスライドでございます。
0:21:35	49 ページ。
0:21:36	引地さんですけれども、牧ノ原面を小口としたボーリング調査と、
0:21:41	その付近のタニで下部層準の露頭調査を行っております。
0:21:46	下の箱書きの内容になりますけれども、今回、詳細に調査した、下部の露頭というのは、
0:21:53	既往調査で、分析用試料を採取したルートでございます。
0:21:59	従前の資料ではですねこの地点の標高を気圧シキイの構造金融リスク計測した。
0:22:04	標高 62 メートルという報告をしておりましたが、今回、衛星を使ってですねより精緻に継続したところ、
0:22:12	60 メートル、
0:22:14	2 メートルほど誤差があったということで来評価時の見直しを今回行っております。
0:22:21	根拠の資料採取箇所については後程、露頭観察結果とともに、ご説明いたします。
0:22:29	次 50 ページは、比木 2 地点の古谷泥層 - 層相の概要でございます。
0:22:35	以前ご説明した内容でございますが、大きく見ればですね株はれき質でちょっと砂べきがち須永知が
0:22:45	層相しておりますが、次の 51 ページ、パブをですねより詳細に、
0:22:51	見てやりますと、この 5 月末の会合でもご説明いたしましたが、最下部がシルト層でして、
0:22:58	河川性の堆積物というよりは、開始に伴うおぼれ谷松木層の可能性が考えられます。
0:23:07	次の 52 ページ。
0:23:10	になりますが、
0:23:13	この層準のですね花粉や微化石の出方を細かく見ておりますと、どちらもほとんど出ていないと。
0:23:20	ということで、よりこの層準について詳しく露頭で今回確認したというものでございます。
0:23:26	その結果は 53 ページからになります。
0:23:30	露頭ですけれども沢沿いに大きく分けて 2 ヶ所、確認、刈り取りにより剥ぎ取りによって確認をしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:38	まずこのスライドの露頭ですけれども相良層不整合による古谷泥層というところで相良層からの
0:23:44	相良さんの不整合面とともに確認をしております。
0:23:49	最下部アクゲキを主体とする淘汰の悪い礫層ユニットでございます、そこから上位にかけて、複数のユニットに分類しております。
0:24:00	いずれも学歴を主体とした礫層、礫まじりシルト層が多くてですね、その中に、
0:24:07	円から、垂鉛引きを主体としたユニットですとか、平行より、
0:24:13	認められるシルト質のユニット、
0:24:17	あると。
0:24:18	いうものでございます。実はですねいずれもシルト質、
0:24:22	であることを確認しています。
0:24:26	次に 55 ページ、54 ページですが、先ほどの藤柄沢沿いに 20 メートルほどを行ったところにある露頭でございます。
0:24:37	ここで基盤案というのは確認できていないんですけれども先ほどの藤の野木伴は坂田層からは 1 メートルほど、上位の
0:24:45	A に当たります。
0:24:48	礫層礫まじりシルト層細粒砂シルトからなる、ユニットが認められまして、利益をですねいずれも園から円礫が主体でございます。
0:24:58	採用者軽いなるユニットには平行よりも認められて、
0:25:02	おります。先ほど申し上げた今日調査における均一性の分析用資料というのは、右側に写真の範囲がございますけれども、この露頭側から採取したものでございます。
0:25:15	今回露頭を拡幅してですねこういった層相、
0:25:18	ると。
0:25:20	新たに確認したというものです。
0:25:26	次の 55 ページですが、二つの露頭ですね重要図を標高をそろえて並べております。
0:25:34	含まれる駅の形状をですね色分け色で分けて示しておりますけれども、まず基盤に近い下流側の露頭では、緑色に囲っています比較的角ばった力というのが、
0:25:46	多くてそこからですね上部に向けて窓が上がってって、
0:25:53	上流側に行きますと、
0:25:55	青で囲ったような、は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	悪い、益が増えていく傾向に、
0:26:01	ございます。
0:26:02	この青で囲ったれきの写真というのは、清梁においてですね比木地点の基底礫として整理していた。
0:26:11	できてございます。
0:26:14	古谷泥層の最下部の歴史も浄化戦争というのは、アクレキ角ばった駅からなるという知見を先ほど紹介させていただきましたが、
0:26:25	そういった事件を踏まえますと、この赤く礫州タニユニットというのは、河成の影響を強く受けていると、一方で、荒井礫州田浦ユニットというのは海の影響を強く受けている礫層だと、いうふうに考えております。
0:26:38	こういった見た目の印象論だけではなくて次の 56 ページ、定量的にもですね、両者の差別化は確認しております。
0:26:48	こちら礫形状ですね C T で 3 次元的に計測した結果になります。
0:26:52	グラフ上段、
0:26:55	ですけれども、
0:26:58	上段のグラフは、れきの大変経費、
0:27:02	A の縦横高さの比を縦軸横軸で示したものでございます。
0:27:08	一方、下段のグラフ二つは、横軸が超縦横高さの比から求めた車員近似的な球形度。
0:27:17	縦軸がですね、今回 C T で 3 次元的に表面積体積が図れましたので、
0:27:22	いわゆる心の球形度ということで、様々の定義に基づく球形度でございます。
0:27:29	今回 C T で堆積表面積を測れるようになったことで、この椎野球形度が求められるようになったと。
0:27:36	あとは差別化に役立っております、
0:27:40	例えば高さから求めた、いずれも測れるようなパラメーター、
0:27:45	上段のグラフで言いますと、
0:27:47	グラフだとか、下段のですね、横軸方向の、
0:27:52	プロットになりますがこちらに関して、青と緑、違いはないんですけれども、
0:27:57	下段の多重事故方向、3 次元的に見ますと、ばらつき、それから縦軸との相関に違いが出ておまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:05	先ほどのページで、見た目ではっと受けるような印象がですね形状認証の違いが定量的にも確認できていると。
0:28:12	いうものでございます。
0:28:16	次 57 ページ、こういった酸素炉等の観察結果から、その層準のですね堆積環境について考察を行っております。
0:28:26	まず下流側の方からになりますが、
0:28:31	基盤付近の学歴を主体としたユニット、
0:28:35	礫形状が配っているということや、荻野藤太郎に着目いたしますと、恵比寿も浄化戦争に対応するという可能性が考えられます。ただですねこのユニット気質はシルト質でございます、
0:28:47	一般的に言われているような網状河川システム、
0:28:51	増永入っているとか、そういった特徴とは異なっていると、ということ、
0:28:56	付近にですね、円から円引き主体のユニットですとか、並行用 R I のあるシルト主査層のユニットが認められること、これを踏まえまして、
0:29:06	条例からは学歴が供給されるような、河川の影響を強く受けた堆積場の中に、
0:29:11	改修の影響、
0:29:13	及び始めたことを示していると考えておりまして、
0:29:18	歴史も浄化戦争から覚えたイマイ積層の浅部に当たると。
0:29:22	いうふうに考えております。
0:29:25	上位の上流側に目を向けますと、円から円礫が主体で、基盤付近に比べて窓が高く、
0:29:34	平行寄りが認められるユニットですとかシルト層から成るユニットが認められますのでこのあたりはもう回診の影響を受けていると。
0:29:42	森谷井関層に当たると。
0:29:44	いうふうに考えております。
0:29:50	で次の 58 ページでは、これらの層準からですね試料を採取して、花粉だとか微化石がどういう出方をするのかという確認を行っております。
0:30:00	歴史のユニットが多いんですけども、化石があるとしたら保存状態がよさそうなシルト分を多く含むようなユニットをねらってですね今回試料採取を行っておりますが、
0:30:11	1 ユニット除いて花粉も、微化石もほとんど検出されないことを確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:18	一井と花粉が割と出た部分が、下部の方にございますけれども、
0:30:25	そちら出ている花粉についての松田とかCといった温暖種の花粉が大半であることを確認しております、
0:30:31	こちらは現世種の統制によるものだと。
0:30:35	いうふうに考えております。
0:30:38	59 ページになりますが、こういった露頭調査、花粉分析結果を踏まえまして引きつけの模式柱状図、
0:30:46	と。
0:30:47	花粉層状の細分化を行っております。
0:30:51	花粉層状については、従来5層準だという説明をしておりましたけれども、最下部には数が少ない層準が確実にあるということを今回露頭で調べた結果わかりましたので、
0:31:05	それをイチゼロ隊として最下部の層準の細分化を行っております。
0:31:11	以上が露頭調査の結果成果でございますが、
0:31:16	次 60 ページにはですね、こういった均一の株、
0:31:20	金支店はですね株だけではなくて上部に限っても、
0:31:24	ボーリングコアを使った分析を今回追加しておりますので、
0:31:28	その分析、
0:31:31	なおかつですね今回CMS分析も追加して全庁にわたって実施しましたのでその結果を横並びでお示しております。
0:31:40	まず層相から見てやりますと、露頭で確認した小原イマイ関層というのは標高 65 メートル付近まで続いておりまして、
0:31:50	上位の粘土シルト層を主体とする内湾提訴へと変化して、
0:31:55	さらにその上位で営業松原佐渡衛藤行かしております。
0:32:01	花粉層状で見ますと、Aーババに井関層というのが10 一時A A1A1B 体。
0:32:10	この3層準内湾底層が1次CEGDA賃貸に対応いたします。
0:32:19	河瀬木部が関野さんす状況ですけれどもボルダリング積層には、
0:32:24	文献で言われている通り、花粉と化石はほとんど確認されず、
0:32:29	そういうその制作に適さない環境だったという、恒設と整合的な内容がやられています。
0:32:37	一方で第4低層に入りますと、珪藻だとか、貝化石有効中、世界砂の化石が産出する層準というのが認められまして、
0:32:46	C N比を見てやる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:49	割と化石が出てくる層準があると。
0:32:52	いうことを確認しております。
0:32:54	CAMS分析の方に移りましてCM比で見えておりますと、いずれのサイズにおいてもですね堆積物には陸成の植物は、
0:33:02	入っているという影響が認められております。
0:33:07	一方でCNOC S費。
0:33:09	用の購入率を見ておりますと、
0:33:13	内湾低層株までは、断水性堆積物の値を示しておりますが、
0:33:19	羽山低層の中部から、上位ではですね、海成堆積物の値を示して、
0:33:25	おります。
0:33:27	これ花粉とは非常に整合的な結果でございまして、12体というのが温暖種のサルスベリが出る層準になりますが、
0:33:35	バンカーによってですね、
0:33:38	海成面が上がってきて、海からの硫黄の供給量が増えた様子が両者からよく伺えるというものでございます。
0:33:48	こういった全長にわたって調査も今回追加いたしました。
0:33:52	衛藤さんは61ページは、引き継ぎの調査結果のまとめということで、ご説明した内容をまとめております。株は覚えのない毎月層に当たっていてそこでは微化石がほとんど出ないということを確認しました。また花粉も出てないということを確認しております。
0:34:17	次すいません。62ページの方に移らせていただきましてBF1地点と同じようなことがいえるのかという確認を行っています。
0:34:28	63ページは調査の概要になりますが、露頭と2本のポーリングで、下泥層の確認を行っております。
0:34:38	64ページはBF4地点、ごめんなさいBF1地点の古谷泥層－層相の概要です。
0:34:43	1点ですね従来の説明から変更している点がございましてそちらが下の箱の内容でございます。
0:34:50	BF1地点の古谷泥層の下部には、硬岩力が含まれている、砂礫まじりシルト層のユニットがあるという説明を以前はしてはしておりましたが、
0:35:00	今回ですねその部分を含めて、花粉分析を追加実施したところですね、そのユニットが古谷泥層でないことを示すデータがえられましたので、
0:35:10	層相としての説明も、見直しを行っております。
0:35:14	そのあたり詳細に記述したのが65ページになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:20	コア写真のですね黄色い部分、広めに映っている部分が問題の砂礫まじりシルト層でございます。
0:35:28	下位のシルト層と色調は異なりますけれども、地表付近でしたので、
0:35:34	風化により変色したものだという解釈をし、狩野城田層とともに古谷泥層として、評価した結果をお示ししておりましたが、
0:35:44	今回このコアでですね連続的な、花粉分析を行った結果、下位のシルト層と、花粉の採取状況が明らかに異なっているということがわかりまして、
0:35:54	古谷泥層ではないという評価を行っております。
0:35:59	下位のシルト層については現世種の花粉がほとんど含まれておりませんので、絶滅種は履歴ですとか、
0:36:06	率いそれからB F 1の企業の花粉石化からよく出ている反撃の株も認められておりますので、
0:36:14	この層準より、会においては、従来の評価通り古谷泥層が古谷泥層だという評価をしております。
0:36:23	右上の箱になりますが、この砂礫まじりシルト層の歴史というのは、B F 4地点の泥層と対比に当たりまして、形状だとか、
0:36:31	歴史についての分析結果を示しておりましたけれども、これらについても、F R Sを堆積時に購入したものではないと。
0:36:39	考えられますので、今後対比に用いないこととしております。
0:36:44	以前分析結果を説明しております資料についての最新版は、表に示しておる通りでございます。
0:36:54	次66ページですが、こういったですね確認結果も踏まえまして模式柱状図をスライドの通り見直して、
0:37:03	直したという内容でございます。
0:37:10	次67ページの内容になりますが、今回花粉の追加で花粉分析でこういったことが、
0:37:19	先ほどご説明したことがわかったということで見直しを行っておりますが、そもそも何で金の追加分析をやろうと思ったのかですけれども、
0:37:27	こちらはですね既往のデータで先ほどとは別の項で実施した花粉分析の結果を示しております。
0:37:37	当然こちらの方では
0:37:39	先ほどのような黄色い地層がないことは確認しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:45	この花粉分析見ますと、BF4、BF1地点の古谷泥層も、最下部には花粉が出にくい層準があることが確認できておりましたので、これが平面的にも本当にそうなのかという観点で、先ほど、
0:37:59	見直しを行った項で仮分析を追加でやったという背景でございます。
0:38:06	その追加の花粉分析結果がどうだったのかというのが、68ページでございます。
0:38:12	上の方ですね黄色い地層は先ほど古谷泥層ではなかったとご説明した地層で、ただその株については半期等が出ているので古谷泥層で問題ないと。
0:38:23	いうことを確認した地層になります。
0:38:25	で、さらにですね最下部の分析結果をご覧くださいますと、
0:38:31	花粉がほとんど出ないことが、このボーリング孔から確認できているというものでございます。
0:38:40	次69ページになりますが、こういった複数の地点でですねBF1地点、
0:38:47	最下部については花粉が出にくい層準があるということが確認できましたので、
0:38:52	こちらについても花粉層状、細分化して最下部の、花粉ができる層準があるんだというところを、
0:39:00	明確化しております。
0:39:04	70ページは、比木地点の花粉層状と比した結果でございますが、平均1.5回4層準がですね、しっかりBF1地点の花粉、
0:39:15	層状のに対応するというところを、間確認しております。
0:39:24	次71ページ。
0:39:28	になります。
0:39:29	BF1地点についても、日に同様ですね花粉だとか微化石CAMS分析結果を横並びにして示しております。
0:39:38	品質の下位層準と、花粉が対比できるというご説明しましたがCN-S。
0:39:45	に関しても、非常に対応ができ、
0:39:48	が取れているという結果でございます。
0:39:52	一部、珪藻の産出状況が、こちらの方が多いたというのが、この地点の特徴でございましたが、
0:39:59	こちらについて次の72ページで考察を行っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:06	B F 1 地点の花粉層状を見ると引地線の古谷泥層株に当たるとしているのに、まず、どうして花粉の出方が違うのかという要因の考察を行ったものです。
0:40:17	B F 1 地点で実施した 2 本のボーリングを並べて表示して、花粉の出方がどう違うのかというのを見ておりますが、
0:40:26	同じ標高の堆積物であってもですね、珪藻の産出量だとか、入っている。
0:40:35	海水生種淡水生種の比率が異なるということがご確認いただけるかと思えます。
0:40:41	またそうするとですね産出状況の対応関係を見ますと、黒っぽい炭化物ですとか、相良層歴の有無によっても産出量や、
0:40:49	べきの構成比率が異なる傾向にございまして、
0:40:53	これを踏まえますと B F 1 点。
0:40:56	における、非常に局所的な堆積場の環境変化、例えばですね、周辺基盤の崩れですとか植生環境の変化というのが、珪藻の方に影響していると。
0:41:07	いうことを今回確認いたしました。
0:41:09	なおですねどちらの方にも、珪藻化石がほとんど参集しない、白矢印で示しているような層準がございまして、
0:41:18	これらの層準いずれもですね B F 4 地点のように、海上む層理の泥層であることを確認しております。
0:41:29	73 ページは引き、B F 1 地点のまとめでございまして。これは先ほどご説明した通りです。
0:41:39	以上 2000
0:41:41	まとめたものが 74 ページでございまして。
0:41:44	両者の柱状図と花粉層状化石の出方を並べるような形で示させていただいております。以上が古谷泥層の調査結果でございまして。
0:41:57	続いてですね 75 ページから笠名礫層についても、今回、模式的な地点で調査を行っております。
0:42:06	76 ページ、まず文献の内容ですが、笠名礫層 M I S 5 c の堆積物とされておまして、
0:42:13	2 ポツの内容になります。主にはですね海浜成の淘汰の良い礫層からなると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:19	されておりますが、その上にですね場所によっては、淘汰の悪いべき層が乗ると。
0:42:26	されております。
0:42:29	で、74 ページ今回調査をする地点ですけれども、そういった触れ合い、笠名礫層がですね最下部から最上部の淘汰の悪い礫層まで連続的に確認できると。
0:42:42	文献でされている時点で、露頭調査を行っております。
0:42:48	78 ページ。
0:42:50	その露頭の変形図になります。少し植生が廃棄見づらいですけれども、ササキ堆積物から成る露頭を確認しております。
0:43:01	下部ロッドと上グループに分けて観察結果を示しております。次の 79 ページがまず、下部の露頭でございます。
0:43:11	露頭はですね砂礫堆積物からなりまして、提出堆積物というのは確認できておりません。
0:43:17	この辺りはですね礫層円礫を主体としておりまして衛藤多賀ユニットがずっと続いております。
0:43:25	その上位層が、次の
0:43:27	80 ページ、上部露頭ということで、確認しておりますが、
0:43:32	こちらについてもされ堆積物から成っております、
0:43:35	リース堆積物というのは確認できておりません。
0:43:39	ここの頭のですね 169 メートルぐらいまでは、
0:43:45	並行流発達するユニット、下部と同じようなユニットがずっと続いておりますが、そこから上位については、文献で言われておりますように淘汰の悪い礫層が、その上を覆っていると。
0:43:57	いうことを確認しております。
0:44:01	81 ページにそれらの観察結果をまとめておりますが、いずれにしても、笠名一章の笠名礫層というのは、砂れき質の堆積物が、
0:44:11	だけを、が確認できておりまして、
0:44:14	D種堆積物から成るユニットというのは、全くないことを確認しております。
0:44:21	続いて 82 ページからの内容になりますが、ここまで古谷泥層それから笠名礫層模式地点で、しっかり調査結果をご説明させていただきましたけれども、
0:44:33	そのあとまず層相を B F 4 地点の泥層と比較してやったときに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:40	どうなのかということでまず層相からの層相の比較を行っております。
0:44:46	まず 83 ページの内容ですが、古谷泥層と比較した結果でございます。
0:44:53	B F M 者の泥層というのは、礫まじりシルトで、
0:44:59	上部ではシルトから粘土となるという層相でございます。
0:45:03	今回秘密点をしっかり確認したことによってですね、同じように、今の高いべきを含んで、シルト質の基質を持つユニットというのが確認できております。
0:45:15	また B F 4、
0:45:17	B F 1 地点の古谷泥層についても、B F 4 地点と同様に、シルトから粘土を主体とすることを確認しております。
0:45:26	一方で笠名礫層と比較してどうなのかというのが 84 ページの内容でございます。
0:45:32	3 ポツ目の内容になりますが、笠井地点の笠名礫層露頭では、砂れき対比血液物のユニット、
0:45:42	から構成されることが確認できておりまして、B F 4 地点でそのような、提出堆積物から成るユニットというのは確認できておりません。
0:45:53	以上を踏まえた結果が 85 ページ。
0:45:56	ございます。下の矢印の部分になりますが、
0:46:02	B F 反射の泥層層相に著しい違いがある笠名礫層ではなくて、層相が似ている古谷泥層株に対比される可能性が高いと考えられますので、
0:46:14	試料分析等を用いてより詳細に比較を、この後行っていきます。
0:46:20	三階は 86 ページからの内容でございます。
0:46:25	87 ページになりますが、比較項目何で比較するのかわかりませんが、まずは B F 4 地点の泥層においても、比木 2 B F 1 と同様に火山灰分析、花粉分析微化石分析、
0:46:41	をやっております。今回新たに C M S 分析を追加いたしまして、しっかり対比できる層準があるのかということを確認しております。
0:46:49	その上で、下に示しております、れきの形状種類だとかざくろ石の成分。
0:46:56	フィールド密度といった物理特性、こういったものについて比較を行ったというものです。
0:47:04	88 ページは、まず火山灰花粉微化石 C s 分析を行った層準試料採取箇所を説明しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:14	C S C M S 分析今回追加しましたが、同じような、以前ご説明しているような火山灰、
0:47:21	と同じ層準で、採取した資料を用いて、
0:47:25	分析を行いました。
0:47:27	まず 89 ページ。
0:47:30	火山灰花粉微化石の結果でございます。以前ご説明している通りで、
0:47:36	火山灰、花粉、微化石、いずれもほとんど含まれないと。
0:47:41	いう結果でございます。微化石については放散虫の化石が動くまでに確認できているというものです。
0:47:49	少し飛んでいただきまして 92 ページ、今回追加した C A M S 分析の結果でございます。
0:47:56	まず C M 日で見てくださいと、6 から 10 の値を示してございまして、
0:48:03	一部ですね陸成植物の影響がほとんど認められない資料というのがございます。
0:48:09	それから C S P で見てございまして、10 人以上と大きい値を示してございまして、淡水生堆積物の値を示してございまして、
0:48:18	で、
0:48:19	93 ページになりますが、そういった火山灰花粉微化石 c N - S
0:48:26	の結果をですね先ほどまでご説明した触れ合いベースを、
0:48:29	三重のどこに当たるのかという目で見てございまして、
0:48:34	まず引き継が古谷泥層株の 10 対の特徴と一致してございまして。それから、B F 1 地点のフレアデス最下部 A B 0 体の特徴との、
0:48:46	計算算出状況を除いて一致してございまして。
0:48:51	B F 1 珪藻のサービス状況については先ほどご説明した通り局所的な堆積場の環境平価によるものだと。
0:48:59	考えられますので、また非常影響するものではないと。
0:49:04	考えてございまして。
0:49:07	ということで、B F 4 地点の泥層というのは、
0:49:10	比木 2 地点、B F 1 地点の古谷泥層株の非化石体のうち、花粉 3 試料が少ない層準に対比されるものと、
0:49:20	いう、
0:49:22	ものと考えてございまして。
0:49:30	次 94 ページは含まれる B F S 泥層に含まれているべきの種類を説明したスライドこちらは、以前ご説明した通りです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:40	95 ページは、礫形状でございますこちらまず乗り数で測った結果です。以前は球形度のみ数値でお示ししておりましたが、
0:49:51	複数のパラメータでというご指摘もございましたので、チョウケイと中継、それから中継と関係をこういった大経費を使って比較をしておりますが、
0:50:01	A-2 地点の歴史と、よく似た傾向を示すことを確認しております。
0:50:08	次の 96 ページは、3 次元的に計測した C T による計測結果でございます。
0:50:16	古谷泥層の本当の基底礫、最下部のですね基底礫と比べると、天窓等を表すパラメーターに違いが認められますけれども、
0:50:26	A から演劇をスタートする礫層、
0:50:29	ユニットと比較いたしますと、非常に類似性が認められるというものでございます。
0:50:35	この似ているユニットの歴史を比べたものが 97 ページでございます、
0:50:42	また伴さんから構成されるというところと、1%程度変成岩火成岩が含まれているという特徴も非常によく類似をしております。
0:50:52	この変成岩火成岩については、以前からご説明している通り 98 ページ、97 ページで、
0:50:58	スライドを示しておりますけれども、
0:51:02	天竜川から、
0:51:04	海を消して入ったものをずっと、
0:51:06	いう考察を行っております。
0:51:10	100 ページ、続いて 100 ページですけれども、D3 含まれているざくろ石の成分を比較した内容でございます。
0:51:20	3 地点ともですね天竜川にしかない、マグネシウム成分、ごめんなさい、マンガン成分に富んだざくろ石が含まれることを確認しております、
0:51:31	産地の共通項として整理できることを確認して、
0:51:36	おります。
0:51:38	次の 101 ページは、前回後で
0:51:43	周りの地層に、こういった変成岩火成岩だとか、あと放散虫、
0:51:50	それからざくろ石井についての、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:54	今含まれていれば、齋藤式の可能性もあるのではないかというご指摘を いただいております。
0:52:01	当然ビー・エム・エルの泥層、相良層不整合に覆っておりますので、相 良層の碎屑物を取り込んでいると考えられますので、
0:52:10	相良さんの中に、誤開確認したものがいないんだということを確認した資 料がこちらでございます。
0:52:18	まず、上から変成岩火成岩の液位でございますけれども、相良層は砂岩 泥岩の5層でございます、植木ガスは認められない。
0:52:27	ことを確認しております。
0:52:29	放散虫化石ですが、専務によってですね相良層の中の化石の状況を確認 したところ、
0:52:38	B F M泥層のような完全体の化石は確認されておりませんで破片となっ たケースの化石のみが確認されております。
0:52:48	最後マンガン成分に富むざくろ石井ですけれども、
0:52:51	まず
0:52:53	権限内容になりますが、
0:52:55	権利は条例の基礎 300、こちらが隆起が始まったのが、大体中期更新世 ぐらいから後期更新世にかけて活発化したと。
0:53:04	言われております。これを踏まえますと、相良層が堆積したときには、 天竜川のざくろ石の供給というのは後期更新世に比べると、少なかった ものと、
0:53:14	考えられますが、実際どうなのかということで、
0:53:17	引地県で採取した相良層、B F 4 地点で採取した嵯峨層対象に、ざくろ 石の抽出を行って成分の分析を行っております。
0:53:28	その結果を右のグラフで示しておりますが、
0:53:31	マンガン成分に伴うざくろ石というのは確認されておりました。
0:53:36	確認されませんでした。
0:53:40	ということで一応相良層の中に変成岩火成岩放散虫化石、ざくろ石が含 まれるかという観点で確認をしておりますが、いずれも含まれないと。
0:53:51	ということで、相良層からの二次堆積ではないという判断をしておしま す。
0:53:57	石渡先生から、ざくろ石に関してですねマグネシウム成分に伴うざくろ 石井がどっからきたんだというご指摘もいただいて、
0:54:05	おりますが、そちらについては下の箱で整理しております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:54:10	今回、マグネシウム成分に富むざくろ石も確認できておりますけれどもこちらについては、大井川上流の4万10田井から供給されたものだと。
0:54:19	いう、5冊を加えております。
0:54:24	この後、102ページ以降はですね従来お示ししている物理特性、粒度密度もしっかりにプレスを頭にできると。
0:54:35	いう内容と、103ページは、鉱物組成含有鉱物の内容も類似している。
0:54:43	104ページは古地磁気。
0:54:45	似ている。
0:54:48	106ページは、帯磁率コードも類似しているということで、
0:54:55	特異な値が出ていないことを確認しております。
0:54:58	以上の内容を107ページに、詳細比較結果としてまとめてございます。
0:55:04	108ページはそれらあと一連の内容をですね表にし、形式にして、BF4地点と、
0:55:11	これでその1点をまとめたものでございます。
0:55:19	ということで1から04ということになってしまいましたが、地形層状解析から、
0:55:26	定量的な比較結果まで踏まえまして、
0:55:31	最終的な結論としては、一番そのうちの部分、BF4角泥層というのは古谷泥層株に対比されるという評価をしております。またですね堆積環境についてですけども、技術点の古谷泥層株というのが、
0:55:44	覚えたい毎月層に当たりますので、BF4地点も、泥層が同様に、開始に伴い鎮静した小掠において堆積したのだと。
0:55:55	いうふうに考えております。
0:55:58	ここで一番の古谷泥層に対比できるんだという、評価結果をここでご説明させていただきました。
0:56:06	この後ですけども、110ページから⑤としてですね、BF4角泥層と、局所的なディス耐水物との差異について説明した資料に、
0:56:16	なっております。
0:56:18	まず111ページ、BFM者の調査と敷地の陸成0層との違いについて説明をしております。
0:56:27	敷地の育成例素案、津波堆積物評価でご説明さして、ご説明しておりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:37	堆積年代と、堆積当時の海水準から陸で堆積したと考えられるリース堆積物が、敷地では確認されております。
0:56:46	これは後、
0:56:48	甲斐からですね還暦シルト層保障性シルト層腐植質のシルト層に大きく分類できまして、
0:56:53	局所的なディス堆積物であると。
0:56:56	考えております。この分布標高については標高 20 メートル以下でございまして、BF4、泥層よりも低いところにある。
0:57:05	泥層でございます。
0:57:07	で、
0:57:07	BF5の泥層にはですねこれらの陸成0層に見られるような相良層の利益というのは、認められておりませんで、
0:57:16	なおかつ陸成-泥層には含まれない硬岩歴が入っております。また腐食についての入り方に違いがあると、いうことをこの後ご説明しております。
0:57:28	112 ページが、それらの確認した。
0:57:32	地点、
0:57:35	ボーリング孔の位置で示しております。
0:57:38	113 ページが断面図でございます。
0:57:42	津波堆積調査の資料の中でご紹介させていただいた図面でございます。分布標高としては、20 メートル程度の
0:57:51	よりも低いところに分布する泥層でございます。
0:57:56	その層相がどうなのかというのは 116 ページに記載がございしますが、
0:58:02	腐植質のシルトだとか、眼力汁等から成っております、構成として、BF4 地点の泥層と異なるものだと。
0:58:12	ということをお示ししております。
0:58:16	要は敷地の陸成泥層との違い、そういったものとは違うという内容でございます。
0:58:24	続いて 117 ページの内容になりますが、
0:58:30	BF4 地点の城層はMIS5c のです。
0:58:33	堆積物ではないということについてのスライドでございます。
0:58:40	御前崎地域の忙しいにおいてはですね会員制の礫層が堆積する環境にあったと考えられますが、そのような環境下において、BF4 地点に泥層がたまる泥層を溜めようとすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:52	後背湿地の環境が想定されますけれども、そういった環境であればですね、規定から腐食が多く認められるような、泥層になるはずなんですけれども、
0:59:04	B F 4 地点、きてから、政界色の泥層から成っておりましてそういったものとは性状が異なると。
0:59:11	いう内容です。今回定量的にですね C M S 分析も実施しておりますが、
0:59:16	陸成の植物がたくさん入ってくるという結果はえられておりませんので、T B L の時点の泥層というのは水越の堆積物ではないという評価をしております。
0:59:31	次の 158 ページは以上のですよね、敷地の陸成泥層でも異なりますという内容と、見過ごしに想定されるような泥層とも違いますという内容をまとめたスライドでございます。
0:59:44	119 ページ、表。
0:59:47	P M 支援でその堆積年代評価のまとめということで、
0:59:51	①から④でしっかり古谷泥層カーブに対比されるんだということと、⑤で敷地の陸成泥層見過ごしに堆積すると想定される泥層とも、
1:00:03	事務局長的な泥層とも違うということを確認した結果をもって、B F 4 地点の泥層は古谷泥層株に対比される M I S 5 e の堆積物であるという評価をして結論としております。
1:00:17	それがございましたけれども以上はコメント回答で後、本編資料でございます最後少しだけ
1:00:26	補足説明資料、
1:00:28	の方で
1:00:30	引き継ぎの陸成、ごめんなさい、B F 発で動く近傍の礫層の評価。
1:00:37	についても説明しておりますので、そちらを
1:00:40	簡単にご説明させていただきます。
1:00:44	補足説明資料、
1:00:47	7 月 13 日付の資料でございます。
1:00:52	18 ページからの内容になります。
1:00:56	まず冒頭 19 ページ。
1:00:59	それから 20 ページは、本編でも説明させていただいたような、地形層状解析の結果を示しております。
1:01:07	20 ページに断面図を示しておりますが敷地の B F 4 地点の近くに認められる S T P G B F 2 個の 3 地点、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:17	今礫層が分布しているわけですが、これらの地層というのは、笠名礫層に当たるか、古谷泥層の株に当たるかどうかと。
1:01:26	いう、地理的に言えば、どちらかに当たると考えられます。
1:01:31	それらの調査結果を、21 ページ以降、順番にお示ししております。
1:01:40	21 ページから S T 値の
1:01:43	礫層ロットを、
1:01:45	22 ページに、それらの詳細、写真、
1:01:50	観察結果を示しております。
1:01:52	今回ですね 23 ページにお示ししておりますように、しっかり、従来のような、22 ページのような写真に、
1:02:00	説明文を加えるのではなくて中央図とともにですね層相の観察記録をお示ししております。それから基質に関しても、従来、須賀砂田とか、
1:02:12	佐伯という説明をしておりましたが、
1:02:15	粒度分析結果も実施いたしまして、左室シルトであることを確認しましたので、そのあたりの記載の見直しを行っております。
1:02:25	こういったトータルにある礫層からなっている地層でございます。
1:02:31	同様の結果を、26 ページ 1. についても、つけております。
1:02:39	次に 17 ページの内容になりますが、こちらは B F 2 地点の礫層露頭でございます。この事はですね箱書きの 2 番、2 番目の箱書きになりますが、
1:02:50	杉山さんの文献図 9 によりますと、古谷泥層が分布されるという地点の礫層でございます。
1:02:58	我々の調査では、この付近に 0 層が分布することは、分布しないことを確認しております。
1:03:08	永続箱元である産総研にですね、当時のルートマップ、
1:03:14	その確認をお願いして確認させていただきましたが、
1:03:18	本日には礫層のみが記載されておまして、
1:03:21	我々が確認した同じ歴史の堆積物を古谷泥層株の礫層と、当時は解釈したものだと考えております。
1:03:33	小河野露頭につきましても 29 ページで今回詳細な観察結果をお示ししております。
1:03:42	この露頭が笠名礫層か古谷泥層どちらに対比されるのかですが、30 ページにまず笠名礫層、
1:03:50	との比較結果を示して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:52	おります。
1:03:54	笠名礫層露頭で確認した下部の方はですね比較的トータルの
1:03:59	円礫扁平率からなっているんですけども条文において、
1:04:03	トータルの悪い礫層から、ユニ礫層から成るユニットが確認されておりますこの赤枠で囲った部分です。
1:04:10	記述の粒度分布等も非常に類似しておりまして同じ左室シルトからなると、
1:04:16	ということで、こちらの主張に、よく似ているということを確認しております。
1:04:23	31 ページれきの形状をですね定量的に比較してありまして、笠名、
1:04:29	液相とH吉廻BF4付近の3地点は、非常に類似していることを確認を確認いたしました。
1:04:39	32 ページになります、古谷泥層とはどう違うのか、なんですけれども、
1:04:45	古谷泥層が基底礫と、
1:04:49	BF4 地点付近の3地点へきて、直上の利益を比較した結果はこちらでございませぬ。
1:04:56	古谷泥層の駅、文献が言われている通り、割と関わっているとは学歴が主体だという記載もございませぬ。
1:05:03	定量的にも今回それを確認したというのは先ほどご説明した通りですが、
1:05:08	そちらと比べてあっても、
1:05:11	椎野球形度で見ると、ばらつきだとか、
1:05:14	この場合の球形度との相関関係に違いが見られるということで、違いが見られることを今回定量的に確認しております。
1:05:25	33 ページは結論ですけれども、
1:05:30	BF 前野礫層、
1:05:33	の式笠名礫層の式地点と類似性が認められて、一方で、古谷泥層との古谷泥層まずきっちりとは、違いが認められると。
1:05:43	ということで、我々としては、これらの礫層は笠名礫層に相当するものだという評価をしております。
1:05:53	本日の資料コメント回答箇所の説明は以上になりますすいませんちょっと長くなりましたけれども、以上です。
1:06:05	規制庁のニシキです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:07	説明ありがとうございました。それでは、確認。
1:06:12	今日説明いただいた資料について確認をしていきたいんですけども、
1:06:17	まず、ちょっと私の方からですけども、
1:06:21	全体に関連するところから少し、
1:06:24	確認させていただきませうけれども、
1:06:27	コメント回答資料編本編資料の、
1:06:31	今回7ページのところに、
1:06:34	そのコメント回答の、
1:06:36	流れということでまとめていただいている、最後ゴール
1:06:42	をBF4指定の泥層は古谷泥層株に対比されるミスで伊井の堆積物であるというふうにして、
1:06:49	いて、それをどのように示していきたいかということがわかるように、
1:06:55	フローを作って作られたという
1:06:58	ことだと思んですけども、一方その具体的にじゃあその地層観察の結果とか、各種分析がどのような根拠としてそれが、
1:07:09	このフローの中でどどんいって根拠として用いたのかということ、その資料上ちょっと読んでいて、ずっと入ってこなくてわかりづらいところがあるんですけども、
1:07:20	その評価する流れという意味ではわかるんですけども、例えば花粉分析っていうものは何に包括して使いたんだとかそういった1個1個のその調査、
1:07:31	#NAME?
1:07:34	例えばそのうち、
1:07:35	地層の話だと地層は類似の法則で開会と上位があったら上の方が新しいですよという、そういう法則的なものがあるんですけども、各種分析の中でどっちの方が、
1:07:48	どっちつかずのようなデータが出てきたときにどっちによりその
1:07:53	示した確からしい。
1:07:56	その根拠があるのかとかそういったのがあまりちょっとよくわからないところなんですけどもその総合的なリーズナブルな説明が、
1:08:05	でき、できるようにしていくってところでちょっとこの辺がわかりにくいんですけども、何かその辺、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:12	何かこうこうなこういったフローを作っていた中で、各種分析ってどういった位置付けで考えようとしているのか、その中でどういったものに重きを置いて、
1:08:24	この結論、ゴールに持っていくのに使いたいのかっていうところについてちょっと確認させていただきたいんですけども、いかがでしょうか。
1:08:38	秋葉大学の森本でございます。ただいま西さんのご指摘は今回7ページの方ですねコメント回答の流れということで資料の構成みたいところをまず、
1:08:49	概括的にご説明させていただいて、
1:08:52	なんですけれども、その中のもう少し細かい内訳は、結論に結びつけるところの、
1:09:00	調査結果、
1:09:04	各ステップにおきおいてどういった調査結果がえられていて、どれが、それが結論にどう影響しているのかっていうところ、
1:09:15	が見にくいという、
1:09:17	そういったご指摘でよろしいでしょうか。規制庁自主検査。そうですそう言ったところなので、どこかで結構なので、
1:09:26	その分析を、何か分析とかも何かページには、こういった分析項目としてやりますってしか書かれてないので、その中で、そんな、その分析の中で何、どう上げますか、どういった、
1:09:39	優先順位で物の分析結果を見ていけばいいだとか、例えば花粉分析のところていくと、花粉分析っていうのは、基本は環境変数変化みたいなものを見るために、やってると思うんですけども、その中で花粉が0。
1:09:55	少ないっていうのは、その時代として少ないという意味なのか、堆積等の起こりにくいのかという例えばそういった意味で使う、どっちで見ればいいんですかとかなったりするんですけども、
1:10:06	例えば、H
1:10:08	A B Cと分かれてたところねその、ある程度花粉量が出てる時の変化っていうものについては、それは環境としてとらえられるというふうにいえるんですけど例えば花粉ていくと、少ない0っていうのは、どっちで読めばいい。
1:10:21	花粉として、暖かい時期だけでも花粉が少ない、ちょっとしか出ないような堆積環境だったので、それは花粉分析の計画で使えないというふう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	に判断しなきゃいけないっていうことになったりすると思うんですけども、
1:10:33	その辺の分析結果の扱い。
1:10:35	方というか、解釈のときの使い方ってというのがいまちょっとわかりにくいところがあるのでその辺どう考えているのかなってというのがあったので、各項目を、市長されるところで、
1:10:48	何かその辺の使い方みたいなところを整理していただけたほうがわかりやすいかなということちょっとコメントさせていただいたんですけども。
1:10:57	大体認識は同じ一致してるところでしょうか。
1:11:03	中部電力です石井さんのおっしゃっていただいたことは概括的な
1:11:11	今回やった内容、
1:11:14	結果を見える形根拠とともに概括的なことを示すスライドを、明日スライドいいますか資料が、ちょっとわかり、わかりにくいということと、それぞれの各論の中で出てきた。
1:11:27	調査結果の会社食うと花粉であれば、花粉が出ないにくいってところをどうとらえて、
1:11:34	環境なんか時代なのか。
1:11:37	そのあとの堆積環境なのか、どうとらえているのかという
1:11:42	ところが見えにくいってここに点かなというふうに
1:11:45	お伺いしましたので、そちらの方は資料2、
1:11:49	同じさせていただきます。
1:11:52	そういった認識でよろしいんでしょうか。成長ニシキShare層相ですそういったような意味合いでした。例えば100は最後108ページぐらいのところ、詳細企画とかされてるんですけども、
1:12:05	そういったところでも、
1:12:06	花粉少ない少ないとかいろいろありますけど、
1:12:11	何かこれとこれと比較していいものなのかとか、とそこ最後のゴールに向けての対比する日物とか比較して検討していくものとしてこれを、
1:12:23	これが適しているのかというそういうところがあるので、その辺は少し整理された方がいいのかなってところで、ここちょっと108ページのところが出たので古地磁気のところ、
1:12:33	これ古地磁気全部変革南北方向伏角50から60度ってことで3000とも類似と書かれてますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:12:41	例えば 104 ページで実際に資料のところ戻っていただくと、
1:12:45	これって、古谷で S B F 1 地点と比木 2 地点というものは、これ A L P H A 95 とここで有意にまとう変化性変化で分かれてるってことでこれ古地磁気の分野からすると、
1:12:58	時代の違う堆積物、
1:13:00	次回時代でもあれですよ別にあの講師、後期更新世か、中期更新世かというそういった時代じゃなくて、例えばこのぐらいのずれだと、数百年とか、
1:13:11	数十年とか、そういったレベルの時間差がある堆積物なので、同時期に、どう、どう、同じ時間面とは言えないとか、そういったことが見れるようなデータがきちり出されているところもあるので、
1:13:23	そういったものを使えるとか使えないんだとか、そういうのも含めて、検討いただければいいのかなというふうに見ていただいた方が、より
1:13:33	最後のゴールに向かっては、適位、津久井飯塚以下にできるのかなというふうに思ったんで少し確認、どういう考えで使うのかなということちょっと確認させていただきたかったところでございます。
1:13:48	で、
1:13:50	続きますして、
1:13:56	ちょっともう表とかそういうところ言ったんですけどちょっとこれ、
1:14:00	全体を通じての細かいところのお話ちょっと恐縮なんですけども、ちょっとこれ、これまでにちゃんと確認しとけばよかったかと思うんですけども、ちょっと読んでいて、
1:14:10	相良層と相良層群というふうに書かれているんですけども、これって、
1:14:15	違うんですか、正しくは相良層群、
1:14:19	ですよ相良層群の泥岩歴とか、そういったことでいいんですね。
1:14:27	はい中部電力の成松で記載の統一がとれておりませんで申し訳ございませんでした。相良層群の中の相良層というのが正確な表現。
1:14:37	でございますして、それは
1:14:41	細かく見ていると、砂岩泥岩の 5 層から成っているというものでございますので、
1:14:47	そちらはちょっと今相良層群という表現と、相良層という表現が混在して、
1:14:52	ありますのでそちらについては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:54	統一を図らせていただきます。
1:14:59	8 ページで
1:15:03	奇数と層状、
1:15:05	記載しておりますが相良層群の中に相良層があるという関係ですので、
1:15:10	それがわかるように記載を改めます。
1:15:19	すみません、施設ニシキです。もう一度確認したいけどこれは相良層群相良層なんですか。
1:15:26	相良層群相良層っていうのがあって、さらにその中に砂岩、
1:15:31	泥岩ゴソウとかいう岩相がある。
1:15:34	この地層の命名の分類のところをちょっとお聞きしたかったところなんですけども。
1:15:40	はい、森本です阪田層群があって、その中に相良層があって相良層細かく見ていると、砂岩泥岩ゴソウであったり、砂岩優勢5層があったりという、区分でございます西さんおっしゃる通りです。わかりました。
1:15:55	ということはさ、別に誰か相良層、
1:15:59	基本的には相良。
1:16:01	相良累層に相当するところのものを、のお飲みてるんだっていう理解でいいんですよ私ちょっと。
1:16:08	この相良層、相良層群っていうものを行ったときに、
1:16:14	どうなのかなと思ってるんで基本的にこの泥層っぽいところを、はもう相良累層であるので、基本そういったものできんであるってこと。
1:16:23	なんですね。
1:16:24	ありきだったり、地層だったりとかですね。
1:16:28	はいどうぞ。その通りです。
1:16:42	それ以前所はどちらかそれがごちゃごちゃしてどちらを何か何とか読みながらわかんなくなってるところがあるので多分どちらかに統一されればいいだけの話だと思うので、
1:16:53	その辺がちょっと
1:16:55	統一すべきか本当に相良層群と呼ばなきゃいけないところがあるのかとかその辺少し
1:17:02	検討いただければと思います。適正化の時に検討いただければと思いますのでよろしくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:09	それともう1個全体的なところで、返すと全体読んでいてそのBF4地点の泥層と書かれてるんですけども、その泥層っていうふうに裸で書かれている中で、
1:17:22	続いては円礫が含まれるだとか、例えば30ページのところとかだと、の泥層はっていう記載の続きのところに、
1:17:32	0層にこう眼力が含まれていてそ、それが上方に向かって細粒化しているので書かれてて、何か泥層と言いながら利益が出てきてシルトが出てきて粘度が出てきてるなっていうので、
1:17:45	ちょっといまいちごちゃごちゃわかりにくくなるんですけども、そのあたり、あれですよ、ここで使ってるBF4地点の泥層というのは何かある。
1:17:55	いわゆる、ここで呼びたい泥層はっていうような、いわゆる泥層、ここでとあるのA層はPSを見たい方で泥層はっていう言い方をしているってことなんだと思うんですけども、その辺がバツバ一と読んでて、
1:18:08	これは本当の間、炭素ベッドとしての礼装を言いたいのか、いわゆる、
1:18:16	AA層B層みたいなところの、
1:18:18	それから、阿蘇そんな坦たんユニットとして、言ってるのかちょっとわかりにくいところがあるので、ちょっと何か工夫いただければ、読んでたらどちらかかけてならないのでいいかなと思いますのでちょっと工夫いただければと思います。
1:18:33	いかがでしょうか。
1:18:37	財産は先ほど土肥さんおっしゃった通り個別二章的な使い方を基本的にはしてるんですけどもそのあたりは性状を表してるようには読めたりしてややこしいことを、
1:18:47	ご指摘いただいてると思いますので、
1:18:50	そのあと例えば相当呼び直すとか、
1:18:55	そういう、そういった対応になるかと思しますので、少しわかりやすいように、記載を改めさせていただきます。そういった対応でよろしいでしょうか。
1:19:05	規制庁西です呼び直すかどうかちょっとまた置いて、お任せしますけれどもいずれにしてちょっと読んでいてどっちを指しているのかがわからなくなるところがあるので、ちょっと直して、
1:19:15	間、方がいいかなということでちょっと全体を見てちょっと思ったところなので、ちょっとお話したところですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:41	すいません名前の話はちょっと最後に最初に定義するのでちょっと工夫します。
1:19:46	すいません層相変え工夫いただければと思います。
1:19:50	それでちょっと細かいところちょっとあと引き続き認識の方から確認させていただくんですけれども、
1:19:57	52 ページのところですね、これ前回の
1:20:03	審査会合
1:20:06	方針のところのあれでも、
1:20:10	示していただいた図になるんですけども、
1:20:13	これって結局のところ、この図表でいくと深度 46.5 から 46.65 のところの所属っていうものはこれ、
1:20:23	説明だと古谷結局古谷泥層になるんですかそれとも、
1:20:28	何なんですかこれも図だと、今のところはどう。
1:20:32	ちいつかずな形で示されているんですけども、これってまだ、
1:20:37	決着はついてないんですかこの部分の扱ってどうなってるのかなっていうのをちょっと確認したいんですけども。
1:20:47	はい大本です。この部分は使いどっちつかずのままでございまして、
1:20:54	ここでコアをぎりぎりやってもこれ以上の情報は出てきませんので今回露頭で、しっかり下部の花粉層状だとか、底面、
1:21:05	この不正を、
1:21:07	相良層との整合面関係について確認したと。
1:21:12	いうものでございます。その結果、計画については、ここについては、
1:21:18	比較的少ないということを確認したという内容です。
1:21:24	規制庁ニシキです。そういった場合にドッ、
1:21:27	この花粉 116 程度結果出ているところっていうのは、
1:21:33	今回の花粉の、
1:21:35	ここのデータに不じゃ含めないっていうことですか、含んでないってことですか。
1:21:43	衛藤モリモトです加須の大学の 100、ごめんなさい、59 ページに示しておりますが、
1:21:52	ここの右側の図ですね 10 対と書いてあるちょっと上の部分に、スパがピット伸びている部分。
1:22:01	ここが 116 個出ている花粉の。
1:22:05	標高の時になりますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:10	ここ単体で見ているわけではなくて、この常時層の花粉の出方を見てですね、10体という層準を、
1:22:20	今回細分化したというものでございます。先ほどのですね花粉が出ないということはどう扱うのかという、
1:22:27	ところと含めてですねその辺は、わかるように、ご説明させていただきます。
1:22:59	すみませんもう一度、規制庁の伊敷ですけども、何か前回のお話まで、前回のお話ですとこの、
1:23:07	深度46.6。
1:23:10	46.65か。
1:23:12	6ぐらいのところの花粉も、
1:23:17	思って、
1:23:19	古谷層と言って、
1:23:21	だと言ってた気がしたんですけどもそうじゃないですかちょっとちょっと何か、私の中でよく行ったんですけども、もう一度ちょっと、
1:23:31	説明してもらっていいですか。
1:23:33	そんな、前回からその何人をどう変わったのかというのがちょっとわかんなくなっちゃったんですけども。
1:23:41	52ページの内容でございますけれども、
1:23:47	※1、
1:23:49	この116をどう取り扱うかということで記載をしております。
1:23:56	ここ岩相としては、砂岩泥岩、ゴソウのところから確認されている。
1:24:04	花粉になるんですけども、
1:24:07	この直下にですね割と砕けたところ、写真をご確認いただければと思いますけれどもスライムがいると、ということと、
1:24:15	相良さんは汎用性の堆積物ですので、こういったところに花粉はないだろうと考えられますので、この116-花粉というのは古谷泥層が止まった時に入った花粉だという整理をした上で整理を、
1:24:31	していますのでこの地層が古谷泥層だとかそういうことを言いたいわけではなくて、
1:24:36	ここの
1:24:38	116とした花粉は、いつの時代に入ったんだという取り扱いは古谷泥層堆積時に入ったものではないかという取り扱いを以前しておりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:49	今回そこを特に露頭観察結果をもってですねひっくり返しに行ったわけではなくてですね、その結果をその結果として、一つ整理した上で、
1:24:59	そ、そのさらに下部の部分も含めて、露頭で調査結果、花粉試料を採取して分析したのが、
1:25:08	先ほどご説明した 59 ページの結果でございます。
1:25:12	一つ
1:25:17	佐渡層の中で確認したデータとして
1:25:24	花粉が割と出ている資料がございますが、その前後でしっかり花粉としては出にくい、データとしても、この度の可能性が高いものを確認しておりますので、
1:25:35	この層準としては花粉が出にくい。
1:25:39	花粉体だと。
1:25:41	いう整理を今回したというものでございます。
1:25:53	規制庁、佐口ですけども、ちょっと多分ここがですね今回古谷泥層特にその比木 2 地点の、
1:26:03	古谷泥層のいろいろ文体っていうのか、層準のを分ける。
1:26:10	多分ポイントになると思うんですけど。
1:26:13	ちょっと
1:26:14	ちょっと関連して、
1:26:16	同じような確認になると思うんですけど、
1:26:18	この 59 ページっていうのと、
1:26:21	左の
1:26:23	要は一番下のこれ倍です。バーですよ。
1:26:26	いわゆるこの、これまでこれ出されていたこの一番左、左下の場っていうのが、
1:26:33	この 52 ページで言う、花粉-116 っていうデータで、
1:26:38	いいんですよ。違いましたっけ。
1:26:43	山本です佐口さんおっしゃる通りです。
1:26:47	はい。今回その 59 ページの一番右下のこの色がついてるバーというのは、露頭から一応なんか採取している 58 ページですよ。
1:26:59	58 ページで採取したこの花粉の 137 っていう、
1:27:06	部分で、これはだから何か、
1:27:09	現世種による汚染と考えられるっていう部分で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:13	その部分を今の一番 59 ページの右下に、今プロットしてあるっていう理解でよろしいです。
1:27:24	山本ですそれぞれおっしゃる通りです。できた左側の一番下に出ているバーというのはその上にある、
1:27:33	P T O 対という文字の上っ面あたりにある。
1:27:36	データになります。
1:27:39	はいサグチです。はい。はい。そうすると、結局 59 ページっていうのは、左と右で、特に
1:27:46	標高でいうと 60 メーター付近ですよ。これは、
1:27:50	D たというのは、これまでと全く同じなんだけれども、その
1:27:56	分類っていうのか、そこを変えられ変えたと、そういう理解でよろしいです。
1:28:09	サグチですけども、要はこれまで豪州の層準っていうものの、
1:28:15	だったのが、データはおんなじなんですけれども、一番下のところは今回その露頭で追加をされたということはあるかもしれないんですけども、この H O 対というのを、
1:28:26	少なくともこの 60 メーター標高 60 メーター付近の、
1:28:32	層準というのは、データは基本的にはおんなじなんだけれども、
1:28:38	層準だけを追加をされたのか変更されたのかわかんないんですけど、
1:28:44	そういう、
1:28:45	いずれにしても理解でよろしいですか。
1:28:49	はい五藤です。下部の層準泥層等のデータを付け加えたもので、上下の関係を見て、
1:28:58	判断しているというものでございますデータ投資がプラスになってるのは、
1:29:04	株の 60 メートルよりも低いところのデータが追加になってると。
1:29:08	いうものです。
1:29:11	はい。ちょっと事実確認わかったんですけど。そうすると、今度ですね、52 ページのさっき言ってました 116 花粉 116 のその上の、
1:29:22	20 とかありますよね当然 20、さらに上に行くと 11 とか、一番上のところのボーリングのところだと一番右だと 103 とかあって、
1:29:33	さらに、今回追加でされた 58 ページとかでも当然同じように、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:41	137 があってしかもその下って 35 とかがあって、上の方に行くと同じように 36 とかってあるんですけど、
1:29:49	こういったデータっていうのは、すべてこの 59 ページ。
1:29:54	2、反映されています。
1:30:01	はい 52 ページの内容は、59 ページにすべて反映されております。
1:30:11	はい規制庁サービス、多分 52 ページっていうのは今までのデータと一緒になので、基本的に何て言うんすかね 59 ページの左左と結局同じというデータを使っているんで、
1:30:25	そこは多分反映されてると思うんですけど、じゃあ一方で 58 ページの先ほど申しあげましたように、この 35 花粉の 35 とか 36 って書かれている部分ですね。
1:30:35	この部分は、今回の 59 ページの右の、
1:30:40	ところに行って反映されているんでしょうか。
1:30:48	はい大本です 59 ページの中に反映はしているんですがちょっと主、寒冷だとか宿舎食うで、
1:30:58	見づらくなっているところもあるかと思います。少しその辺りをですね拡大するなり、
1:31:05	こういう大学等で示してしまう等、花粉が出にくいところ見にくくなってしまうということもありますので、
1:31:12	ちょっと見せ方は、
1:31:16	表で示すなりですね工夫させていただきますが基本的なデータはすべて、
1:31:21	取り込んでおります 0 のところが、
1:31:24	佐賀さんおっしゃったように 0 のところがデータとして見づらくが見えないっていうご指摘かと思いますので、
1:31:31	そこはちょっと見せ方を工夫させていただきます。
1:31:36	はい、佐口です。多分、
1:31:39	そういうことかなとも思いつつ、例えばその 59 ページの右の方の一番下にプラスの+って書かれていて、プラスっていうのは、
1:31:49	基本的には、これ、100 個未満の資料を示すっていうことなんだと思うんですけど、
1:31:58	それ、それが結局その 58 ページのこの 35 とかっていうふうなことを意味しているのかでも実はそうじゃなくて、35 でも、これパーセンテージとかで示すと例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:32:11	もみだったら、ちょっとこうバーになるとか、
1:32:14	そう、その方、違いがあるのか。
1:32:18	いや本当にちゃんとだから反映されてるのかどうかっていうのをちょっと確認をしたかったんですけど、そういう理解でいいんですかねそれともこのプラスとかっていうのは、実はあんまり関係なくて、
1:32:31	ちゃんとプロットされてないだけなのかってもう1回ちょっと確認させてください。
1:32:40	はい。当然生徒さんのご指摘は例えば58ページの真ん中の36ってのはどこに。
1:32:47	プロットとして落ちているかというのが大学のご質問かと。
1:32:52	理解しますと思います。
1:32:56	すいません資料でちょっと見つらなくなってますが、
1:33:02	前回、
1:33:03	最下部には116戸出ているというバーの下にあるプラス、
1:33:07	が、それに該当していて、複数のデータがちょっと、
1:33:12	深度の宿泊の関係で重なっていて見つらくなっていると思いますので、
1:33:17	そちらについては先ほど申し上げたように、見せ方は工夫させていただきますデータとしてはしっかり落ちておりますので、
1:33:26	すいません規制庁のナグラですけど、見つらくなっているのではなくて関連が見えない。
1:33:32	ていうことだと思えますがいかがですか。
1:33:43	はい大井五藤です申し訳ございません。
1:33:48	その関係が読めるように、修正させていただきます。
1:33:58	はい。佐口です。いずれにしてもですね、
1:34:01	とにかくこの59ページには、今回の追加の分析も含めてすべてのデータがプロットされていると、いうことでよろしいということですねという確認です。
1:34:22	はい堀本です今すべてのプロット等が落ちている。
1:34:27	確認をしているんですけども、もう一度その点についても再度確認してですね、完了が読めるような資料とさせていただきます。
1:34:38	規制庁谷ですけどちょっと私もここは関連してで、
1:34:42	確認したかったというかちょっとお願いしたかったことがあるんですけど、これ結局59ページの模式柱状図っていうのに最終的に集約されてるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:53	これ何、どこのデータがどう生きてるのかっていうのがですねよくわからないんですね。例えば、
1:35:02	52 ページこれ何だとか、Wの 30 行と、53 ページ
1:35:08	露頭下流側上流側っていうのがどういう、
1:35:12	この 54 ページの上流側ですかね。
1:35:16	これがコードどう対比されて、それがどう集約されてこの模式柱状図になってるのかっていうのが、何かいまいち考えがわからないんですよ。
1:35:27	で、最終的にこういった模式柱状図を作るのはいいんですけども、何かこの辺の変換がどうどう加わってるのかっていうのを、
1:35:37	ちょっとはっきりして欲しいなど。特にこの地層はここ、この露頭ではここに当たるんだよっていうのがあるんだったら、そう、その対比をして欲しくて、これって
1:35:48	実は B F 1 地点でもそうなんですよね。だからボーリングっていうのが、ここ 2 本あるのかなそれと露頭っていうのがあって、
1:35:57	結局最終的な模式柱状図がどうどこのどのデータを組み合わせてでき上がってるのかってのがいまいちわかりにくくてですね。
1:36:05	その辺ちょっと、
1:36:06	ここの模式柱状図に行く前にちゃんと説明してもらえないかなと思資料上ですね、お願いしたいんですけど。
1:36:16	はい後ですね田井さんのご指摘承知いたしました例えば柱状図ですとか
1:36:23	コア写真との対応から窓どういった変化をしたのかっていうところが見えるように、
1:36:30	資料化させていただきます。
1:36:39	規制庁の甲斐です。私も今、同じような話で例えばですね、57 ページに、
1:36:46	上流側露頭下流側の頭の上部下部とかっていうのが並んで、
1:36:52	今下流が露頭ってのは、上部下部だけじゃなくて中部っていうのもどっかに、
1:36:58	あるっていうのは、53 ページにあたりして、
1:37:03	これとはほかにボーリングもあるっていうことで、今谷が言ったように、このボーリングと、この露頭情報の上部下部中部とか、上流下流も含めて、横並びで、どこがどう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:17	対応するかっていうのを標高合わせるかなんかして、対比した上で、それをもって、どういった総合柱状図っていうか、模式柱状図ができたかっていうのが、
1:37:29	わかるように、ちょっと横並びでデータを、
1:37:32	並べた上で何か示していただいたらわかりやすいかなと思いますので、
1:37:37	よろしくお願いします。
1:37:42	米本ですはい。わかりました。
1:37:45	規制庁タニそれに加えて、結局 52 ページのこのさ質シルト層っていうのは、柱状図上は、これはもう何か重要視してなくても入れなくていいって判断なのか、それともこの左室シルト層この A46 点、
1:38:02	15 メーターぐらいのところですね、その辺をちゃんとですね説明してくださいじゃないとですね、さっきのニシキさんが確認したようにこの辺の扱いどうなってるのかっていうのが、さっぱりわかんないと思います。
1:38:15	お願いします。
1:38:21	はい。森本です。今のご指摘を承知いたしました
1:38:27	ちょっとスケールを分けたりですね少し資料として工夫させていただきながら、それについては層相についてはご説明させていただきます。
1:38:47	規制庁ニシキですけども、
1:38:50	そしたらですねちょっと、
1:38:53	最後の陸成の、
1:38:58	泥層等のところの話のところ、111 ページなんですけれども、
1:39:04	ちょっとこの、
1:39:06	書き方で、さっきも説明いただいたんですけども、111 ページの 4 ポツ目。
1:39:13	のところの記載を改めて読むと、この B F 4 地点の泥層には敷地の陸成 0 層に見られる相良層の歴は含まれずと書かれているんですけども、
1:39:28	でも B F 4 って、古家層とか相手のものと比較したいって言う中で、今回そのいろいろ露頭のスケッチとか記載を聞く、かなり
1:39:39	忠実にして載せていただいたところをいろいろ見ていくと、笠名層、
1:39:45	例えば古谷層だと何ページでしたっけ。
1:39:47	さっきの 50、
1:39:50	2 ページあたりのところ、50 何ページかな、あの辺りにも持ってますけど大体相良層の泥岩を含むっていう記述に結構なっていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:58	先ほどの補足説明資料の方で、笠名の液相のれきについても、いろいろ
1:40:05	詳細書いていただいているんですがそこを見てもやはり相良層群のレーガンれきを含むっていう係で結構
1:40:13	相良層に、浅香層じゃないと古谷泥層にせよ、笠名礫層にせよ、
1:40:20	古家相良層の歴が8個入ってくるってというのが、
1:40:26	ものだっていうことを理解、見てて今回のものでかなりはっきり見えてきたと思うんですけども、B F S入ってない。
1:40:35	ていうことは、逆に言えばそれって、
1:40:39	何だろう。
1:40:40	比較対象としてよろしいんですかってのがちょっと気になったんですがその辺どうお考えで今いらっしゃるのかをちょっと。
1:40:49	お聞かせいただければと思うんですが。
1:40:55	はい111ページの内容ですけれども、森本です。陸成泥層の違いということで、陸成泥層には、栗国相良総利益が入っていて、それとは違うということで、
1:41:10	事実としてB F製の泥層と、
1:41:13	スピーチの中に認められるような泥層との違いどういったことがあるのかというのを整理させていただきますその中で、今ご指摘あったような、
1:41:22	相良総利益が入ってないということも、
1:41:24	相手が入ってないとの違いとしてあると。
1:41:27	ということで、間違いとして、まずはそれを整理させていただきますので、
1:41:31	古谷泥層は場所によってはですね相良層歴が入っていたり、
1:41:37	する地点もあるんですけども、何で入るのかっていうのを考えますと、基本的には、
1:41:42	きており、
1:41:45	母岩が相良層ですのでそこの崩れということで入ってるんだらうと。
1:41:49	というような解釈をしております。
1:41:51	単純にまず、111ページで申し上げたいのは、敷地の中の0層と、
1:42:01	B型の泥層がどういった観点違うのかといった事実をまず一旦整理させていただきましたが、古谷泥層等の対応にあたって、そこの有賀Cが特に影響するものではないというふうには考えております。
1:42:17	規制庁ニシキです。お考えのところはこれはあくまでも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:22	陸成0層との違いは何かっていうところにフォーカスしたときに、
1:42:27	どうこういう状況かっていうのを整理されたというところで、特に
1:42:33	古谷BF4地点の中に、相良層の力のある岩谷ってものは全体として見たときに古谷層との、
1:42:42	比較の上では、重要視していないということで、
1:42:47	聞いておけばいいよ、いいって。
1:42:49	ことでしょうか。
1:42:52	はい西さんおっしゃる通りです。
1:42:55	ニシキです確認できました。
1:43:05	規制庁の甲斐です今のところのお話でちょっと私も確認なんですけれども、
1:43:12	仕切っ地にある泥層のようなものと違うかどうかっていうのを示してある、110ページ。
1:43:20	以降の説明のところ、
1:43:27	これは
1:43:29	当然津波堆積物調査の方で見つかった敷地の中の泥層そのものは、
1:43:36	んじゃないかっていうところもあるんですけどもそういった意味では、標高が全然違うというところはそうなんですけれども、
1:43:44	濃いここの地域は、その6000年前じゃなくても、
1:43:51	5Cとか5Aとかの時代にも、
1:43:54	やっぱり高いところにそういった、シルト層に多様な泥層がたまるような環境だとすれば、
1:44:03	同じようなものが、
1:44:05	ないのかっていう観点での、
1:44:07	指摘も含んでるんですけども、
1:44:11	そういった観点だとつまり、
1:44:15	決定的に何かこの古谷泥層と、その陸成泥層というか、
1:44:22	いうものの違いっていうのは、ここが違うんだっていうところっていうのは、
1:44:27	何になるんでしょうか今の当間相良層の利益を含む含まないのあたりも、
1:44:33	そこも決め手でもないような、
1:44:38	説明だったかと思ったんですけども、
1:44:41	そこら辺がちょっと資料見てて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:44	わかりづらいんですけども、お考えを聞かせいただけますか。
1:44:54	江本です砂層力の部分についても違うんですけども、
1:45:02	B判定の泥層と敷地の陸成泥層と言ってる泥層の違いとして一番大きいところは、
1:45:12	硬岩べき円礫が、
1:45:17	硬岩の一井硬岩からなる演劇が入ってるか入ってないか。
1:45:22	いうところは大きく違っておりまして、
1:45:28	敷地の陸成レースを、比較的高い標高にある。
1:45:32	海野当時、堆積当時海がついてないような環境にあった泥層の中には、
1:45:37	円礫硬岩礫州は全く入ってない。一方で、BF4地点の泥層には、
1:45:43	演劇硬岩力が入っているというのが、明確な違い。
1:45:48	です。これは不
1:45:51	半数の泥層を古谷泥層対比するにあたって、
1:45:54	先ほど、
1:45:55	引地店の歴の形状をご説明させていただきましたけれども基底礫の上に窓の高いれきが入ってきていると。
1:46:04	これは、下はたまったものを環境の中に、丸いよそから来た、海成の力海成と考えられる液が入っているという環境と、
1:46:13	非常に類似してるというところとも、説明としては整合がとれている違いかなというふうに考えております。
1:46:20	やはり好意的に田丸、泥層ということで海が絡んできて、泥層がBの地点であって、
1:46:26	一方で局所的に谷地形の中でたまっている敷地の陸成とすると何が違うのかと。
1:46:32	いう観点で見ると、そのつてその二つは違って、
1:46:36	古谷泥層と対比するという根拠とも整合的な結果がやられているというものでございます。
1:46:45	はい。規制庁の甲斐です。わかりました今の資料見てるとその硬岩歴が一番重視される。つまり、硬岩歴の円礫
1:46:55	が一番その違いとして重視されるっていうところが、
1:46:59	なかなかわかりづらいっていろいろたくさん書いてあってそれが一番大事なんだっていうところが、
1:47:05	読み取れないのでもしそれが大事だっていふのであれば何かその辺りが資料からも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:10	読み取れるようにしていただきたいなというところ。
1:47:14	が1点と、あと、
1:47:18	117 ページ。
1:47:22	5c の堆積物ではないことについてということの、
1:47:26	説明もあって、そこでは
1:47:29	二つ目のポツで、孫椎野時代であれば、
1:47:35	後背湿地性の泥層がたまる。
1:47:39	もし、溜まってたとしたらそうであろうと。
1:47:41	いうところが書いてあって、それは
1:47:46	海のところ、海、海の、ちょっと高いところでたまるとすれば後背湿地性の泥層であろうという。
1:47:52	ことかなと思うんですけども、
1:47:55	衛藤。
1:47:57	そういう場合には腐食が多く認められると想定されるけれども、そうじゃないんだということが今、説明としてあります。
1:48:05	ただその前のページを見ると、その炉、
1:48:12	湿地性③版の湿地性の
1:48:16	ものっていうのは当然あるとして、
1:48:19	6000 年前の海からちょっと高いところにはこの②のシルト層、湖沼性っていうのもあって、
1:48:26	それはこの下の写真を見るとそんなに、
1:48:29	腐植質っていうわけでも、17メートル台とか、15メートルから、
1:48:36	いうところがあるんですね。で、
1:48:39	その辺りとの違いがよくわからなくて、要は呼称性みたいなものが、実際、標高数メートルぐらいのところにあった。
1:48:49	ていうことがここには書いてあるけども、117 ページの方では、そういうのはなくて後背湿地だという、
1:48:57	前提があると。
1:48:59	いうところがその関係をまず確認したいのと、あとそこにC N部C N-S分析からもう1回求めた。
1:49:07	C N比ってというのが、
1:49:12	についても言及されてるんですけども、
1:49:17	これ
1:49:18	前のページ敷地 14 とか、あとそこにはないけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:23	敷地 18 とか、
1:49:26	前回のし津波堆積物の資料には出てん分析結果が出てたんですが、
1:49:33	見たらこの 117 ページある T O C とか、
1:49:37	もうほとんど一緒だし、
1:49:41	あと、
1:49:42	C N 比も大体 8 から 10 ぐらい、11 ぐらいだったかと思うんですねこの、
1:49:49	ほとんど今書いてある、ここに表示されてるのとあんまり変わらないように、
1:49:57	もう見えたんですけれども、その C M S 分析の
1:50:01	観点も、ちょっとどうなのかなっていうところと、今お考えがあれば、確認したいんですけれども、いかがですか。
1:50:13	はい、そうです今ほどカイダさんのご指摘の趣旨、
1:50:19	その前に 117 ページでじゃあ何、何で M I S 5 c の堆積物じゃないっていう。
1:50:26	ところを、今回整理させていただきますいただいたかっていうところなんですけれども、
1:50:32	先ほど資料の中でご説明させていただきましたが、
1:50:36	当時の海水準だとか隆起速度を考えると、
1:50:41	ご支援の堆積物、
1:50:44	ごめんなさい、ご支援の時代にもですね B F 4 地点、海がついていた可能性があるだろうと。
1:50:51	いうところを大きくにして欲しいで、
1:50:55	たまった泥層。
1:50:58	読みが来てたんだから、
1:51:02	C でも泥層って、あまりいえる環境下なんじゃないかというところが
1:51:07	コメントのキックになっていたのかなという理解でおります一方で、
1:51:11	先ほどカイダさんがおっしゃった 116 ページの絵と、
1:51:14	泥層なんですけれどもこちらはあくまで、
1:51:18	敷地の中では海水準に高いところで溜まった泥層の性状を表しております、
1:51:26	そこの性状と似てルーのはそれ静かな環境でたまった泥層ということでプロであれば皆同じような見え方をしてしまうんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:51:38	調整の中にも藤岡が含まれないような泥層があるというのは、当然それはそうなんですけれども、前提としてですね、
1:51:46	海がつくような環境では、椎野礫層がたまるような環境下で、
1:51:51	ちょっとど都丸泥層はどうかというのとは
1:51:55	ご指摘なのかなというふうに理解をしておりますで、当然そういった後椎野泥層という御前崎地域でまた確認されておられませんので、
1:52:02	そういった時代に田丸泥層ってどんなもんだろうというところの想像力を膨らませて今回、
1:52:08	そういう環境であれば田丸としたらこう配置するだろうということで、こういったスライドを追加しております。ちょっとその辺りの位置付けがですね見づらくなっている。
1:52:18	検討の位置付けが見づらくなっているところもございますので、そこは整理してご説明させていただきます。
1:52:26	それからC S分析の結果についてはちょっとご質問の趣旨がよくわからなかったんですけど、こういった内容を、
1:52:32	もう一度お願いしていいですか。
1:52:35	足。
1:52:37	カイダですね。
1:52:38	C N - S分析のAの方につきましては、今、T O Cとか、C N Pが、
1:52:48	育成、
1:52:50	植物が顕著に含まれるような結果がえられてないってということで、
1:52:54	C M費ってというのがこのグラフで見ると、
1:52:57	8 から 10 ぐらいのところにありますと。
1:53:02	いうところかなという。
1:53:05	今グラフに示されてるのはそうです。
1:53:08	で、前のページにある、その 116 ページにある、このイベント堆積物シルトって書かれてるところ、この腐植質ではないんですけど、
1:53:19	その下のシルトのところでも、
1:53:22	前回、し津波の方の資料では分析値が示されてあって、
1:53:27	この故障性と言われてるようなところだと、117 ページのC N比 8 から 10 ぐらい、ちょうどそのぐらいの同じ値があったので、
1:53:40	つまりは 116 ページであるように、
1:53:42	海面よりちょっと高いところに湖沼性のシルトがたまるような環境がありましたと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:48	そういったものと、117ページのゾロ層の分析結果は、C N比、
1:53:55	同じぐらいなので、
1:53:58	その辺りはどういうふうに分等分析をされているかというところを確認したかったわけです。
1:54:09	笹木です。よろしいですか。
1:54:14	はいどうぞ。
1:54:16	今ちょっと116ページと117ページを行ったり来たりして、ちょっと焦点がすごくわかりにくいんですが、まず、
1:54:25	前提として、
1:54:27	117ページの遠いが、
1:54:31	5cの時代に、
1:54:33	泥が溜まってたまった可能性はないのかという問いなんですよ。
1:54:37	それに関しては基本的には、今日、
1:54:42	説明があったように、
1:54:44	笠名層のモードの露頭で泥層層がないので、
1:54:49	そもそも、後椎野時代の泥層と直接比べることはできないんですね。
1:54:54	基本的には笠名層は、扁平の駅からなる海浜で、基本的には海の地層、
1:55:03	があってその上にちょっと、
1:55:05	川の雰囲気を出した格好ぐらいの、
1:55:09	扁平層がちょっと悪くなったような、
1:55:13	礫層がたまっていて、そこはその気質は、手術室ではあるんですけどそれでも、明らかに左室シルトって須永通がいっぱい入ってるような地層ですので、
1:55:24	だから、後椎野時代の地層、泥層の地層等、
1:55:30	ありえないのかって言われたらそれはモード露頭がないんだからありえないとしか答えようがないですね。
1:55:36	それに対して、その局所的な、陸にたまった泥そうな可能性はないのかって問いに対しては、それは敷地で、今実際に津波堆積物でいろいろ調査していると。
1:55:50	こういった陸成の泥層っていうのは、局所的にはありますので、これが10万年たって12万年たって、その地質と地質の地層として残っているかっていう議論は別に置いて、もしこういったのが、
1:56:05	その残ってるとして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:09	今、BF4で行っている。
1:56:12	固有名詞としてつこうイメージ的に使っているその泥層というのと、規格はどうなんだってということに関しては、
1:56:21	その硬岩歴、
1:56:22	に着目してやると、その
1:56:26	硬岩歴が含んでいるBF用の泥層層と、この敷地の中の局所的な泥層層のように、電気が入っているにしても、もう、
1:56:35	116ページの写真見ていただければわかるように、もうほとんどもう、
1:56:39	ガサガサの
1:56:42	相良層由来のできがガシャッと入っているだけで、硬岩力が全く入っていないっていう層相も全然違えば、
1:56:49	れきの種類も違うってのはわかったので、そういった局所的な泥層の可能性もないでしょうと。
1:56:56	いうことを今、あと116ページと117ページでちょっと説明してるんですけど。
1:57:01	そういった流れがちょっとわからないっていうご指摘であればちょっとそれがわかるようにちゃんと作り直そうつくり直す必要があるかなというふうに思います。
1:57:12	以上です。はい。規制庁の甲斐です。わかりました
1:57:17	ちょっと
1:57:18	後椎野時代の海の中とかでたまったもんじゃないかっていうような、前回の指摘ではなくて、
1:57:27	例えば前回の紙、審査会合資料でいくと、404ページ、
1:57:35	もう見ていただければと思うんですけども、
1:57:40	ここに
1:57:43	ST値とT11とBF2地点を結んだ形で見過ごしへの海岸線がここにありますと。
1:57:51	いう説明があって、それより左、右側が海で、左側が陸だというような説明で、BF4地点は、その海岸線よりちょっと、
1:58:01	陸側の方であって、ありますよっていう、その下の、
1:58:05	断面にも書いてあるんですけどもこういう位置関係にあると。
1:58:09	こうなったときに、
1:58:11	敷地の中だって海岸からちょっと離れた高いところに、6000年前に、陸成というか、湖沼性の泥が溜まった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:21	という事実がありますというのがわかったので、
1:58:25	6000年前じゃなくて、この、まさにこの後椎野海岸線があった時代だっ て、この高いところに、
1:58:34	ちょっとした呼称性のものがあつた可能性だつて、この地域はだと考え られなくはないですよねと。
1:58:41	いう中で、
1:58:42	その海岸線から離れたところのちょっと高いところに、
1:58:46	呼称性のもの、つまりは、陸成敷地で確認されたようなものが、
1:58:52	同じようなものが、
1:58:54	なかったんですかそれとは違うんですかっていう、趣旨ですので、海の中 中でのご支援の海の中で、どうこうという話ではなくてこういったか、 100404 ページの関係。
1:59:04	であるように海岸線から離れたところで、
1:59:08	同じようにっていう趣旨でしたので、
1:59:10	ですので、さっき笹木さんもおっしゃったんですけど、
1:59:14	そういった堆積の場が違えばその硬岩歴がとか、相良層がとかってい う、
1:59:20	層相の違いがあるということであれば、そういったところが違いとして 分かるような説明を、
1:59:26	していただきたいなと思ってるところです。
1:59:32	わかりましたありがとうございます。でしたら今の今日の資料でいうと 117 ページをやめて、116 ページにちゃんと統合する形で、そういった ことがわかるような記載に直したいと思えますありがとうございます。
1:59:49	他にですけどちょっと関連でどう考えてるのか教えて欲しいんですけ ど、117 ページで、この時代には、
1:59:58	後背湿地ぐらいしか考えられませんかよっていう話なんですけど、
2:00:03	何て言うんですかね、今のおぼれだ二体おぼれだに堆積物みたいな のは、後椎野時代にはできなかつた。
2:00:11	というふうな、
2:00:13	考えがあるんだと思うんですけどその辺どう、どう考えてるのかって いうのを、
2:00:18	教えてください。
2:00:21	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:23	一般的に覚えタニが高位の堆積物の下にしか日本、日本列島ではあまり変わりというかほとんど見つかってないというのは
2:00:36	海水準変動曲線のカーブで説明、ご説明するまでもないんですが、みせろくうの時代のタニがちゃんと掘れ取れてるかどうかというところが効いていて、
2:00:48	D5Eと5Cの間に谷が掘れるとしたら5Dしかないんですが、5年のタニというのはほぼほぼ日本列島で見つかってません。
2:00:56	d a y s そういったところには
2:01:00	いわゆるその今今回の古谷泥層みたいなそのいわゆる埋没国定の中の埋める泥層とかっていうのは今まで知られてませんし、結果的に今ここ調査してる範囲でも、そういったものは見つかってません。
2:01:14	ということでしっかり表記にしっかりタニを掘った後ではないと、こういったタニ上のものは見つからないんじゃないかというふうに考えてます。
2:01:26	はい規制庁タニです。その辺の考えがですね多分大事な話だと思うんですよね。
2:01:32	何ていうんですかねフォルダに堆積物はこういう時代には、
2:01:37	起きなかったから固化可能性としては117ページで排除してんだっていう、
2:01:42	説明だと思いますのでそこはちゃんと書いて、海水準変動でO dの時代はあまり掘れてないですよっていうのをですね、説明として加えてもらえたらいいかなと思います。
2:01:53	あともう1点なんですけど、116ページで、硬岩歴は含まれないっていうことで、敷地14行っているのを見本でこう書いてるんですけど、
2:02:03	これって、
2:02:05	この
2:02:07	どの範囲を確認して、いや、基本的にこれを書くってことは、全部の確認しましたよっていうことだと思うんですけど、その辺全部の広角にして、
2:02:18	全くありませんでしたという話なのか、その辺はちょっと明確にしていただけかなと、少しでもあったけどそれはまとまって何かまとまってはなかったのかと。
2:02:29	まとまってないからまあ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:31	大したことないのかとか、いや層相じゃなくて硬岩層自体が本当に1個もなかったのかとか、その辺の話をちょっと、明確に記載して欲しいんですけど今の事実関係としてはどうなってますか。
2:02:46	はい。森本です。112ページに平面図で、
2:02:53	これ、調査しましたよと位置図を示しておりますがいずれの孔でもですね、
2:02:59	情報開示の下位水準よりも高いところで確認できている0層については、
2:03:05	イベント堆積物と評価している地層を除いてはですね
2:03:11	硬岩層が入っている地層ってのは確認しておりませんいずれも、
2:03:15	入っていたとしても相良層の利益だということを確認しております。
2:03:19	その辺り、少し
2:03:21	網羅感といいますか、調査結果がどの範囲でというところが読めない形になっておりますので、資料の方に反映させていただきます。
2:03:30	細かい結果をですねデータ集のほうにつけておりますので、その辺りと臨港紐づけをしてお示しさせていただきます。
2:03:40	はいタニです確認できました。つまりこの円礫か硬いれきが入っているところは、すべてイベント堆積物というふうな認定は、
2:03:50	していて、イベント堆積物を除くと、もう全く入っていないという説明ですねわかりました。
2:04:00	中部電力イマイですちょっとだけ補足させていただきますと
2:04:05	津波堆積物にも使っております113ページ114ページ115ページの地図断面図ございまして、
2:04:12	これ114ページで見ていただくとちょっと赤っぽい管理がございましてこれが礫層確保海成力とあるものでございまして、
2:04:21	これいわゆるイベント堆積物としているもので、このみ、硬岩層いただいていると。
2:04:27	いうところで他のところは、そういった判例がないことからわかりますように硬岩層は、この断面図の中では一切確認されていないということでございます。
2:04:37	以上でございます。
2:04:42	はい、じゃあちょっとちょっと話の説明。
2:04:44	わかってたつもりなんですけど、わかんなくなったんですけど、この断面図上はそういうれきが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:49	を書いてないっていう話じゃなくて、
2:04:52	ここを全部見た結果、デッキは入っていなかったんですよねっていうのをさっき森本さんに聞いて、そうだっていう答えだったんですけどそれでいいんですよね。
2:05:01	はい。そうですね基本的に、
2:05:04	そうなんですけど例えば敷地5のところですね、
2:05:09	海側のところの標高の低いところでは一部、硬岩駅が入ってるのがございますけれども、それはあくまでもやっぱり海水準の低いところ、長向氏の
2:05:19	海水準よりも低いところで、一部海側のところでは硬岩歴が見つかっていうところがございますので、そこも含めてですね、もう少し丁寧に説明させていただきたいと思います。以上です。
2:05:31	谷ですお願いします。
2:05:43	規制庁の松江です。
2:05:45	ちょっと3点お願いし、
2:05:49	確認ですけど、先ほど52ページで、シール等の機器、
2:05:55	帰属がどうかっていう議論あったんですけども、65ページですね、
2:06:01	B F 案地点の、
2:06:05	上部の、
2:06:07	会食
2:06:09	さ礫まじりシルトは古谷泥層ではありませんという、
2:06:14	ことは書いてあるんです。なんですかっていう質問なんですけど、
2:06:25	中部電力の有本です64ページにですねB F 1 地点の式柱状図の記載が
2:06:33	載せております。
2:06:34	塗布、今回ご家族の数、
2:06:38	すいません、もうちょっとわかりやすい図が66ページにございますので、すいませんそちらで説明します。
2:06:44	66ページで
2:06:49	左側の柱状図最礫まじりシルトとしている標高55メートルちょっと低いぐらいにある礫層が、今回、花粉分析の結果が違う。
2:07:00	時代のものであったという、評価を見直した地層でございます。で、上の方見ていただくと、牧ノ原礫層であったり、
2:07:09	農協松原砂層と評価している砂れき層がございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:13	そういったところがですね、斜面の上部から崩れてきて事業費に溜まっていたものを、
2:07:21	泥層巻き込んで、長期に止まっていたのを 65 ページ。
2:07:25	貨殖のシルト層、
2:07:28	我々はこれを古谷泥層だと。
2:07:30	当時は考えていたんですけども結果してそういった、
2:07:38	違う年代の地層が、割と最近、松田とか椎葉とか方さんするような環境下で、
2:07:45	堆積したものだというふうには考えておりますが、ここの地層の評価問題自体に、
2:07:54	これはいつかというところを突き詰めての
2:07:57	対比上は意味がないのでまずは古谷泥層ではないという評価を今示しております。
2:08:08	二次的在籍物が外製とか、ずっと地すべりっっちゃうか土砂崩れとかそういうイメージでしょうか。
2:08:19	瀬崎です。若干補足しますと、
2:08:24	今、親族のうこの花粉の中身を見てやるとほとんど隔離なんですね。国っていうのはその人間の
2:08:34	人間生活の影響がすごく、
2:08:37	大きい、
2:08:39	修理して、そういったことから考えると、
2:08:43	あえて解釈をすると、
2:08:46	解釈を含めた地層名をつけるとすると、その
2:08:51	耕作度とか表土とか、或いはすんどれきが入っているからそういったものも含む宝石炉みたいな、
2:08:58	言い方になるのかなというふうには思っています。
2:09:06	その辺はどう書かれるかが、
2:09:09	任せますけれども、
2:09:11	古谷泥層ではありませんとだけ書かれてもちょっと、
2:09:15	じゃあ何だとしてか質問が出ないんですね。その辺をお願いします。
2:09:22	都築わかりました。続いてですけども、
2:09:28	何だっけな。
2:09:30	円礫動のを、C Tで綺麗に円礫度が図れるようになりましたというデータを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:09:38	本編 96 ページでは、B F 4 と比木 2 地点、それから、先ほど補足資料では 3132 ページで、
2:09:50	それ以外の、
2:09:52	笠名礫層ですかねとか、そういう、
2:09:56	B F 4 地点周辺の礫層との比較というのをやって似てるとか違うとかいうご説明はあったんですけどもちょっとこの、
2:10:04	存在した点だけだとちょっと
2:10:07	ぱっとわからないので、例えば平均値。
2:10:11	を一つのグラフで落として、こういう違いがありますよとかいうそういう、
2:10:16	説明でもう少しわかりやすい説明をお願いします。
2:10:24	はい Q A とモリモトです 96 ページに平均値としては載せておりますがこれを一つにまとめてという。
2:10:32	ことかと思いますので、対応させていただきます。その他、分散ですとか、標準偏差、ばらつきも含めてですね、お示しさせていただきます。
2:10:44	ちょっと最後ですけども
2:10:47	本編の 38 ページ。
2:10:50	に断面図で、
2:10:54	全体がぱっとわかりやすくしていただいたんですけども、38 ページの右端に米、青で S D 1 T 11、B F II というのはこれは
2:11:08	補足資料の 20 ページではちゃんと
2:11:11	この断面の中に落としてあるので同じように落としていただければと思いますから、
2:11:16	どうして B F 案がないのかっていうのが質問なんです、
2:11:24	はい。井本ですあくまで対比スルーん。
2:11:28	ごめんなさい P F R 地点の秋野鳥井木曾さん地点も、本編の方に載せることということで承知いたします。ちょっと見にくくなるかなということで、
2:11:38	補足説明資料にまわしておりましたがその辺も統一させていただきます。
2:11:44	それから B F 1 地点についても、入れてない理由は特にありませんので、考えさせていただきます。
2:11:52	以上ですよろしくお願いたします。
2:11:58	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:00	規制庁のカイダです。今のちょうどページが出たんで 38 ページですか、その辺りと 37 ページを見比べての、
2:12:08	確認でこれ前回からの資料と、
2:12:12	変更になってるのか見た目変わってそうなんだけど、
2:12:16	ちょっと変更なのかどうなのかっていうところと、そのあたりの経緯なんですけど、
2:12:24	B F はず 37 ページとかで、
2:12:29	今までの資料だと、この B F 4 の周りに、
2:12:33	笠名面ってというのが書いてあって、そのすぐ横にも御前崎面ってのが、確かあの段丘面分布図っていう前回の資料にあったと思うんですけども、
2:12:44	ここに
2:12:46	そのあたりの評議表示がなくなって笠名面がなくなっ。
2:12:51	他のかなくなってるのか。
2:12:53	ここに笠名面があるからっていう、
2:12:55	話で、多分、40 ページのような検討が前回示されてたと思うんですけども、
2:13:03	その今 38 ページとかを見ても、
2:13:05	ちょうどその B F 4 地点の辺りには、
2:13:09	笠名面の表示がないし、御前崎面の表示もなくなったんですけど、
2:13:15	ここはんな変更になったというか、経緯をお聞かせいただいて、変更になったんであればまた、
2:13:25	そうでないならそうでないというところで説明いただきたいんですが。
2:13:31	はい伊藤です前回の資料でですね D F 1000 の周りに地形面を示しておりますので、
2:13:39	そこの凡例もまたご覧いただければと思うんですけど当時はですね、その資料では、
2:13:45	笠名面それから御前崎の相当面として記載をさせていただきました。
2:13:51	というのは前回の会合でいただいた資料がこの地層、
2:13:55	地形層状、ごめんなさい、地形の判読では非常に狭いエリアなので、
2:14:00	相当想像できるのかわからないということで、まず与条件として、しっかりマーケットつきの地層としてしっかりした、
2:14:12	判読ができる、それから地層の分布として、続なんかでも、英文その地点に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:19	年、
2:14:21	段丘面堆積物が分布するとされている事実をDEMから判読して、示したものが37ページでございます。
2:14:29	それで当社の解釈を排除したものが、今回37ページでお示ししているものですので、
2:14:35	もので
2:14:39	書いている対象が違うというものです。そのあたりは、
2:14:43	もう少し丁寧に補足入れさせていただきます。
2:14:52	はい、規制庁のカイダです
2:14:55	前回40ページのこの図、これも変わってるんですけども、
2:15:01	前回はこの丸Dって書いてあるところ。
2:15:06	あと、50メートルを結んで、そこに5cの笠名面があります。で、そこを結んだ形で、
2:15:16	まず基準線を引いて、それより、
2:15:19	以上にあるのは、5cか5eだから、5cか5eの時代でしか海成層が堆積しないということで、
2:15:27	そういう説明であれば、今5Cと書いて、笠名面っていう敷地の周辺にある笠名面というのが確かに笠名面なんだっていうところを、向こうの方、
2:15:40	本体の方から追ってきた上で示していただきたいということで、
2:15:45	そういった趣旨でのコメントを申したと思うんですけども。
2:15:49	これは
2:15:50	結局この40ページとかの、何か前提が変わったということになるんですかこの。
2:15:58	5市、
2:15:59	金の面が、
2:16:01	モリモトですその点に関しまして、
2:16:05	要は、このコメントとしていただいているのが、そこは本当に笠名礫層なのかと、笠名礫層に相当するののかというのが、コメントでしたのでそうではなくてまずファクトとして、
2:16:18	しっかり
2:16:21	段丘面堆積、暖気を構成する堆積物である信頼性の高いものから、需要をもって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:29	A B エフアンドエム隆起速度を算出したというのが40ページの内容です。要は今までは、笠名礫層相当層と、我々が、
2:16:39	笠名礫層と判断しているところから、論理を展開していたんですけどもそのところのコメント回答するにあたって、そこを出発点にしてしまうと何がファクトかわからなくなってしまうので、
2:16:50	今回は、まずはしっかり、牧ノ原礫州段丘堆積物として認定できているところの影響松葉層の上限層、
2:17:01	上限標高から、
2:17:03	隆起速度を算出してやったというものでございまして、図が似ているのでちょっと誤解をいただいているところもどうもあるかと、あるかと思えますけれども先ほどの、
2:17:15	A、
2:17:17	突合価格と同様ですね。
2:17:19	まずしっかり一般的認知されているような、
2:17:24	地形面であったり段丘堆積物そこを出発点として、今回検討を進めていったと言うのが、
2:17:32	い行った資料にしております。
2:17:35	そこの違い。
2:17:38	もうちょっとわかるようにしておきます。
2:17:43	はい。規制庁の甲斐です。特に誤解をしてるわけではなくてですね前回と考え方が変えられているので、変えたのであれば、
2:17:53	前回の審査会合でも申し上げたんですけども、
2:17:57	こういうふうな考え方をしました。だけどころこういうことをもって、こういうふうに変えましたというところがわかるように、記載をしていただかないと、
2:18:09	もともとこの5cか5位なんだっていう、どっちかなんだっていうところの根幹ではない、根幹に近いようなところの、
2:18:19	そこに至るロジックは結論は一緒ですけども、その考え方自体は、ちょっと
2:18:25	変わってきてるということなので、そこはしっかりと書いておいていただきたい。
2:18:32	あと
2:18:33	分面、段丘面、今後これ
2:18:37	今回抜粋んという形のコメント回答なんですけれども、いずれ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:43	合本になったときに、段丘面分布図っていうのもまた出てくるわけですね。それでこの、
2:18:50	今ある笠名面とか、
2:18:52	消えてしまったその御前崎面っていうのはどういう扱いになるのかとかっていうのも、
2:18:58	今、わからないし、今回のこの回答としては、間違いのない面を抽出したということはそれはわかるんですけども、
2:19:08	その辺も
2:19:12	整合的に今後になるように、ちゃんと説明はしておいていただきたいので、
2:19:17	よろしくお願いします。
2:19:22	はい。有本沢川さんがおっしゃってることよくわかりました。その辺りの見直した内容ですと同じような図を使って説明してる内容で見直した内容。
2:19:32	わかるように明示させていただきます。
2:19:37	はい、わかりましたじゃ、その点よろしくお願いします。
2:19:41	ちなみにその場合あれこれ、
2:19:43	Dと標高 70 メートルを結ぶという線はなかった線というかそういう考えを、前と同じような考えにのっとれば、Dと 70 を結んで検討するっていうことも、
2:19:56	ありだと思うんですけど、こういった今この、
2:20:00	紫の線を基準にしたってというようなところも、わかるように書いておいていただきたいのでよろしくお願いします。
2:20:07	で、
2:20:07	引き続き、
2:20:09	文献の結果が 40、5 とか 46。
2:20:15	47 にあるんですけども、その
2:20:21	ところで、確認とお願い。
2:20:25	がありますまず細かい点なんですけど 45 とか 46 は、
2:20:30	発電所の位置とかを入れておいていただきたいのと各重立った調査地点、
2:20:37	は入れておいていただきたい。
2:20:41	と思います。それとですね
2:20:44	今回これおぼれ谷、井関層、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:48	とか、あと、貧化石という化石が少ないっていうところは、
2:20:53	こういった文献から持ってきたというところかなと思うんですけども。
2:21:02	宗加瀬北井とか、古谷泥層の最下部のところっていうのが、
2:21:09	実際に貧化石体だっていうふうに言及してるような論文とか、あと、
2:21:15	元気品化石体という言葉は使わないにしても、いろいろ、
2:21:19	いろんな場所を調査した結果、そこから化石は算出しなかったとか、
2:21:25	というようなデータとか文献論文とか、
2:21:29	あるんであればちゃんとつけていただきたいと思うんですけども、
2:21:33	つまりはその品今回調査された結果、貧化石体でしたっていうところ。
2:21:39	あと、丸論文でもそういった裏付けがあるっていうところは大事かと思うんですが、
2:21:44	いかがですか高清水にはその
2:21:48	ほぼレーザーに井関層には、生息は適さない環境であったという。
2:21:55	サービスの生息に適さない環境だっただろうという一文あるんですけども、それだけなんでしょうか他とかはないでしょうか。
2:22:07	モリモトです 46 ページの右下に記載ございますが高清水ほかと、芝ほか、今、主立った論文としてはこの二つ。
2:22:17	あと、
2:22:19	思いますまた非化石についてスポットで確認してる部分も幾つかございますので、
2:22:26	そこを
2:22:28	引用するような形にさせていただきたいと思いますが、
2:22:32	患者さんのご指摘としてはもう少し図なんかも使って詳細に一見一応みたいな形で、
2:22:39	説明が必要だということでしょうか。
2:22:43	一般系の営業が足りないということでしょうかどちらでしょうか。
2:22:46	はい。規制庁の甲斐です。
2:22:52	芝他のところを見てもおぼれ谷井関層における有効中化石は算出は示されていないっていうのも書いてあるんですけども、実際これ
2:23:02	いっぱいいろんなところでやった上で、全く出なかったところもあれば、上の方から出たけど下の方は出てないとか、そういったのが具体的に示されていたかなと思うんですね。
2:23:15	それ、芝ほか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:17	が引用する文献でも
2:23:19	そうだったと思うので、その辺りがちょっとう、貧化石剤ですっていう今回新しい言葉が出てきたんですけども、
2:23:28	いやそれってたまたま出てきてないんじゃないかだけじゃないかっていう、
2:23:34	疑問も、お相手は来るんだけど、
2:23:37	論文でもちゃんとその層準にはないんだというところはこんなに示されてますよというところ、もう少しこう、詳しく引用した形であれば、
2:23:48	実際本当にそれは貧化石なんだというのが示して、わかりやすくしていただきたいという、そういった趣旨です。
2:23:58	田井さんのおっしゃることを承知いたしましたもう少し手厚く説明するように皆をさせていただきます。
2:24:07	はい。規制庁の甲斐ですこれ前、前回か前々回のコメントにもあったんですけど、今この示されているところ以外にも、いろんな地点でどうなんだっていうような出身の
2:24:19	コメントもあったと思うので、文献でも、この地点でも、こういったこういう支店はこう言ってますと。
2:24:26	いった形で、
2:24:28	手厚く説明をいただきたいと思います。
2:24:32	それと
2:24:34	文献で、結構サイクルを分けて
2:24:38	5サイクルあるみたいな話もあったりとか、
2:24:42	そんな検討もあったと思うんですが、
2:24:46	今回、BF4とか、藤式にとかも含めて、同じ標準だということ。
2:24:54	今、
2:24:56	検討されてるんですけどもそれはサイクル。
2:24:59	サイクルっていうか、123IV、5、下から向後サイクルあったみたいなのもどっかの論文にあったんですけど、どれに該当するかとかっていうのは検討されてるんですか。
2:25:15	はい中部電力の有本です。おっしゃってるのは私、会見堀家だったかな。そうです。
2:25:24	また関戸祭クルーについての記載だったと思います。
2:25:29	文化我々としてもですね把握しております、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:35	素行との対比弾いみたいなところを試みてはいるんですけども、いかにせんその文系ん。
2:25:42	示されているその堆積層というのが、
2:25:45	次柱状図ベースで話が文されておりまして、なかなかそこで一対一でどこに対応するんだっていうところまでは置いてないというのが実情でございます。
2:25:56	それよりかはですね花粉の層序今回、
2:26:00	秘密点で、しっかりやりましたしBF1地点でも同じような結果を得ることを確認できていると。
2:26:06	微化石の出方も、先ほど海上カイダさんおっしゃっていただきましたけれども、結構御前崎地域で網羅的に調査がなされているものですから、
2:26:15	そういった花粉層状、微生物の層状法を使って、
2:26:20	対比を試みたというのが今回の検討内容でございます。
2:26:26	はい。規制庁の甲斐です。わかりました。今の検討されてるっていうところはわかりました。
2:26:33	その辺りの検討で、
2:26:36	前回補足説明資料にそういった時代をてここういった所んところで、ここういった場で堆積したっていう。
2:26:46	なんか、4コマ漫画じゃないんですけども、そういったのがつけてあって、
2:26:50	今回、そのあたりの要は、ちょっと考え方を変えたっていうことであればその資料を、
2:26:58	更新した上で載せていただいた方がわかりやすいんですが、今それがまたごっそりなくなってるんですけどもこれ、
2:27:05	更新した上で戻す、掲載するっていうのは、
2:27:09	可能ですか。補足に、前回あったのが、
2:27:14	なくなってるんですが、
2:27:18	はい。16年度です横野ばって、また次期総体積を順を追って説明した資料。
2:27:26	をつけておりまして、
2:27:28	今回はですねます。その資料は抜いているんですけども、
2:27:33	各比木地点それからBF1地点の堆積層を、
2:27:39	CAMSなり、花粉、
2:27:42	横並びにするとここうい変化があったというのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:27:46	本編資料の 60 ページなり、
2:27:54	71 ページでつけておりますこういう環境の変化があったんだろうというところは一元的には示すさせていただきましたこの結果も踏まえてですね
2:28:05	堆積環境の変化みたいのをリバイスすることは可能ですので対応させていただきます。
2:28:14	はい、わかりましたじゃそれはいずれ付けていただくということでお願いします。
2:28:19	あとそれと、
2:28:25	と、
2:28:26	似たような話で、
2:28:30	B F 1 地点の層相、
2:28:35	編、古谷泥層の層相っていう説明してた資料も、
2:28:40	なくなってるんですけどもそれも、
2:28:44	今回見直しをされたんであれば更新してつけていただきたいんですけど。
2:28:49	よろしいですか。
2:28:53	森本です。B F 1 T - 層相の概要は本編資料の 64 ページの方に今回入れさせていただきました。
2:29:05	若い地層結果芝会長だったということも含めて今回見直しをしたのでその辺の経緯も含めて本編資料の方に、
2:29:14	お会いさせていただきましたが、
2:29:17	補足説明資料が齋木。
2:29:21	規制庁の甲斐です。補足説明資料でいきますと 14 ページがあるんですけども、
2:29:28	14 ページの前回位の資料だとこのページの後に、
2:29:35	B F 1 地点の絵と、
2:29:41	コア写真とかがついて
2:29:49	どこだっけ。
2:29:51	説明があったと思うんですね。その上の黄色い部分が、
2:29:56	前回の補足説明でいくと、57 ページ 58 ページ。
2:30:02	この部分は、
2:30:04	古谷泥層の、
2:30:07	んではなくなったっていうところも出てきたかなと思うんで、ここは

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:11	B F 1 の 1 項の、
2:30:13	説明なんですけれども、これも情報更新した上でつけていただかないと、結局どうなったのかがわからなくなるんですけども、
2:30:23	本編資料ではもう本当に
2:30:29	すいません
2:30:31	今おっしゃってるスライド承知いたしましたすいませんでしたここからのリバイスが追えないというご指摘かと思imasので、
2:30:41	その辺を対応させていただきますすいませんでした。
2:30:45	ではよろしくお願ひします。
2:30:49	あとそれと加えて B F 1 地点で、
2:30:52	結局礫州の検討とかが、
2:30:56	結局、ごっそりなくなったとか、
2:30:59	いう話なんですけれども、その辺りも、
2:31:03	今まで
2:31:06	増やそうとしてたのがなくなったの、古谷層じゃなくなった。
2:31:10	のはわかるんですが、
2:31:13	では、では古谷層相んだっていうところ。
2:31:16	を取った上での、
2:31:18	検討結果っていうのはもうないんでしょうか。
2:31:26	はい。中部電力の森本です。
2:31:30	今ご指摘いただいた 65 ページに、
2:31:34	私は 65 ページにですね。
2:31:38	右の箱書きに、そういった歴を使った分関井。
2:31:45	協議について記載をしております。ここで過去はこの古谷泥層じゃないと言った層準で採取した時、力を使って分析をしていたんですけども、
2:31:57	今回、この分析の結果で古谷泥層堆積時に購入したものではないと考えられることがわかりましたので、
2:32:04	対比は用いないことと、
2:32:08	整理をさせていただいております。
2:32:11	対比、
2:32:14	A、B は今まで B F
2:32:17	4 と B F 1 位、2 本 3 地点で比較して田力の結果については結果して B F 1 が違う年代の利益。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:26	でございましたので、今回、BF1を抜いた資料として、
2:32:34	本編資料で言いますと、
2:32:37	95ページ。
2:32:39	それから礫州に関しては97ページ。
2:32:44	結果をまとめております。以前はここにBF1の結果を載せていたんですけれども、それらの形で資料としてはまとめ、修正させていただきました。
2:32:57	はい。規制庁の甲斐です。今ほどの97ページのところまで元アマノ3段になってたのがなくなって、
2:33:05	粗相97ページにも、
2:33:09	その辺りは
2:33:11	書いておいていただきたいのと、
2:33:15	結局歴は、
2:33:18	BF1地点の植木のこういった検討を使わないけれども、
2:33:23	結論には影響はないということなんでしょうか。
2:33:32	はい。森元です。力の分析で抜いた部分については、追記することを承知いたしました。ビフォーアフターがわかるようにします。
2:33:42	それから金に関しては、今回、
2:33:46	対比の結果は
2:33:49	対比は使えないという判断をさせていただきましたが、
2:33:52	それによってですね今まで大層準がBF1地点、
2:33:59	②歴で、
2:34:01	類似性が確認できるということで、べきで、BF1の層状が縛りを受けてたところもあったんですけれども、
2:34:09	今回、花粉は、あの日、
2:34:11	この歴に関しては、古谷泥層等の違うものだとことが確認できて、なおかつ花粉層状についてのBF4地点と類似する、花粉の出にくい層準が確認できたということで、
2:34:24	もちろんこの力がなくなったことによって、対比の説明性というものは上がったと考えております。
2:34:44	はい、わかりましたじゃいずれにしてもビフォーアフターわかるような形でしていただいて、
2:34:53	データが一部追加とか、なくなったっていう場合にも、それがちゃんと整合的に説明できるような形で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:01	組み立てていただきたいなど。
2:35:04	思います。
2:35:06	あと、もう1点だけなんですけど、
2:35:09	B F 4の中に、硬岩歴がこうばらばら入っていると、
2:35:16	今回の資料でいきますと、
2:35:20	前の方の
2:35:24	何ページでもいいんですけど20、
2:35:29	20何ページぐらいですかねいろいろ。
2:35:37	2、31ページとかがわかりやすいかと思うんですが、これ以前から出ている資料で、
2:35:44	これおぼれだ2枚積層っていうふうに、なんなるとして、
2:35:51	この歴っていうのはそのおぼれ谷井関層、
2:35:56	どう解釈することと、
2:35:59	何か整合的に説明できるかっていうところ。
2:36:03	特にそういう、その辺りは、
2:36:06	書いてあるんですかねどっか実は、
2:36:09	28ページとかを見ると、
2:36:12	ばらばらと基礎を成したような、
2:36:15	どうどうやってこうやって、これができただろうというような、
2:36:18	疑問も以前ちょっとあったかと思うんですが、このあたり、
2:36:22	こういうふうにおぼれ座に埋積層と解釈することでこれが、
2:36:26	こういうふうの説明できるっていうのがあれば、あるのであれば、
2:36:30	どっか書いていただきたいのと、
2:36:33	あと、基質が、
2:36:36	結局淡水性だったのに、
2:36:39	入ってる歴は、
2:36:40	海成歴ですっていうのは、そのあたりの説明とか、
2:36:48	その辺海成なのか淡水性なのかっていうのがぼやけてきたんですけどもその辺りもちょっと、
2:36:55	説明をしておいてって、どっかにあるんかもしれないですけども、
2:37:00	わかりやすい形でしていただきたいんですけど。
2:37:03	よろしいですか。
2:37:08	はい中部電力の森本です。まず最初のご指摘おりに井関層にあたる、どういった環境でたまったのかということで、今回B F

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:19	4 地点の泥層が同じ枚数に当たるとというのは、確認分析の結果であったり、CAMS分析の結果から、平均 1. の最下部に対比される。
2:37:29	ということが定量的にも確認できましたのでその結果をもって、
2:37:35	プレアデスの最下部に当たると。なおかつ、その部分は、比木 2 地点で見ると、これに枚数に当たるので、同じような環境下で、
2:37:44	T p f l ちゃんと改まったんじゃないかという考察を加えておりますその内容は、
2:37:54	これは泥層に対比できますよというまとめを示したり、
2:38:07	すみません 109 ページに、最後一文を入れておりますんで、そういった泥層礫まじりシルト層がどういったまったのかという点についてですけども、
2:38:17	品質線の下部露頭今回詳細に観察した結果が 54 ページにあります。
2:38:25	ここの層相、詳細に観察したスケッチ付けておりますけれどもここもです、敷地をご覧いただければわかるように、シルト質のマトリックスの中に力が浮かんでいるような層準、層相をしていると。
2:38:39	同じような時代に溜まった、花粉の結果がえられているという点と、
2:38:44	ここでも同じよう、BF4 地点と同じような利益が浮いているという層相も確認できているという点もあればおぼれ谷堆積した。
2:38:53	でも差し支えないじゃないかなと思っております。
2:38:55	ここの歴がどうやって浮かんだようなそういう形が入っているのかですけども、
2:39:01	0 北井とです、首藤室っていう、首藤のマトリックスが混在してるっていうことを踏まえますと、
2:39:08	ある程度利益の背後でエロ泥層がたまっているその部分は、
2:39:13	礫まじりシルト層として見えているのかなというふうに考えております。
2:39:19	その辺りの考察を少し加えさせていただきます。
2:39:25	それからもう 1 点のご指摘聞いは、すみません、なんでしたっけ。
2:39:35	CMS 分析の結果では多数出ているのに対して、一方で海成の証拠みたいなところを論じてる部分に関してですけども、
2:39:45	品質もそうなんですけれども明らかに、54 ページでもそうなんです、この層相を見ますと、海野営業部リーダ新居。
2:39:55	終わりっていうのは、回収の影響でタニが沈んでできるものなので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:00	海成が入ってきた環境であることは、層相から間違いないと考えておりますが、そういった環境下でのCAMS分析の値として反応するのは、
2:40:11	もう少し上部層でしか反応しないっていうのが、今回金をしっかり調べた中でわかった結果です。
2:40:18	なので、海の証拠があるないというところとCAMS分析の結果として、海成堆積物になる、淡水生堆積物になるっていうところが違うというのは特に矛盾はしないのかなと考えております。
2:40:32	はい。規制庁の甲斐ですわかりましたその辺もちょっと考察というか、書いておいて、
2:40:38	いただければ結局、今まで海成海成っていう話だったのが、淡水になったのか海成になったのかっていうのが、なかなか
2:40:48	パッと見るだけじゃわかりづらいので、その辺りの考察を、
2:40:52	どこかに追記しておいていただければと思います。
2:40:56	あと、
2:40:58	今CAMSの話もあったんですけどもCN-S分析結果はあのグラフしかついてないようなので、
2:41:05	これも津波の時につけてあったように分析表も、補足でも、本編でもいいので、
2:41:13	つけていただきたいので、それもよろしくお願いします。
2:41:19	はい承知いたしました。
2:41:25	規制庁谷です。
2:41:27	さっきの31ページの、BF4地点の露頭と、いや54ページの比木2地点の上流側露頭っていうのは、何かれきの入り方が似てるんだっていう話。
2:41:39	されてまして僕も今日ちょっとそれ聞きたかったところなんですよねこういったBF4地点のような状況が、他で見られたのかっていうのがですね、今そういった似てるような状況が確認できたっていう。
2:41:52	そういう説明だったと思うので、そこはちょっとちゃんとですね説明してもらったら、
2:41:58	いいかなと思うのと、とはいえ僕ちょっと見比べると、片やBF4は、海上無層理っていうような話をしてたりなんかできる入り方がぱらぱらとこうなんか、
2:42:11	特に後31ページの真ん中のような写真。
2:42:15	全然こう層状に入っていないけれども、54ページを見ると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:21	何て言うんですかね、弱い平行よりは、
2:42:24	シルト層に弱い併行よりも認められるとか、そういうのあたり高齢期の配置を見ると何かちょっとこう、
2:42:31	なんていうんですかね。磯。水平方向にこう並んでるようにも見えるんですよね。あのスケッチだけを見るとですね。だからその辺ちょっと、どこが見ててどこが違うようなところはこういったものがあるんあるのかなのかというのをですね、
2:42:46	ちゃんと層相の観点からも、説明していただけたらなというふうにさっき聞いたのも併せて思いましたので、
2:42:54	お願いします。
2:42:57	承知いたしました。層相に定点と違っているというよりはないだとか、力が入ってる、浮いているというタニてるだとかいろんな観点があるかと思しますので、
2:43:10	その辺り整理して説明させていただきます。
2:43:19	タニですけど、あとですねさっき海田さんの方から確認してましたけど、
2:43:25	段丘、何だっけ、隆起速度の話。
2:43:31	海水準との差。
2:43:34	関係どこでしたっけ。
2:43:41	あの表って、40 ページですね。
2:43:44	これって今現在の比木 2 地点の京松原砂層の城面標高 100 メーターって決めてますけど、これって何か、
2:43:53	もっと、
2:43:55	京松原砂層の上面標高この 100 メーターしかないんですけどって、何か地形を見ていくと、例えば、例えばですけど、38 ページで、
2:44:07	牧ノ原面の、
2:44:10	ピンク色の
2:44:13	ピンク色の面がおりにきますよね。おりにいくのを見たら京松原砂層って、
2:44:19	ひよっとしたらもうこの下にすぐ、もしあるとしたらですね、もっと低いところにあるそうだし、もっと、
2:44:26	図で左側を見るともっと高いところにあるそうだし、こういう基準を変えれば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:33	隆起速度がこう変わっちゃうんじゃないのかなっていうふうな見方もしてしまいうんですけど、その辺ちょっと、なんでこれでいいのかっていうのは、資料上わかるようにしていただけたらと思う。
2:44:45	思います。
2:44:48	やっぱこれすごく隆起速度を上げていくと、50メートルからおろしてくると例えば5Aのところまでひょっとしたら来、くつつくかもしれないとか、そういう目で見ちゃってるんですけど。
2:45:01	しっかりと説明していただかないと何かこの辺で、我々よくわからないなというところがありますのでお願いします。
2:45:11	i P h o n eです。なんで秘密点は今日松原層相の上限を使えばいいのかというところをしっかりと説明。
2:45:18	が必要というご指摘かと思しますので、対応させていただきます。はい。はいそうですここでいいのかとかいうのもあるし、いや幅を持ってこう評価した方がいいんだったらそ、そういうやり方だってあるのかもしれないので、
2:45:31	中部電力としての考えをちゃんと示していただけたらと思います。
2:45:37	はい、承知しました。
2:45:44	規制庁タニイソダ、あとはねちょっと技術的な話とか図ではないんですけど、何か資料見てて、この地地点と書かれてるのがどこの、どこのデータなのかがすごくわからないところがあってですね。
2:45:57	例えば、95 ページで、
2:46:00	比木2 地点の古谷泥層露頭をN101 っていうデータ、ここのデータってなんかもうもはやこの比木2 地点って古谷泥層。
2:46:10	の利益っていうのは、何ヶ所か出てますよね。でよくわからないし、97 ページの比木2 地点の古谷泥層中の利益の構成、これもどこのデータなんだろうなとか。
2:46:23	思うし、何かこう地点って高価格よりも、地点というか、比木2 とか、BF1 だとか、そういう書き方をするんじゃなくて、どこどこのどういうボーリングなのかどどこのどういう、
2:46:36	露頭の話をしているのかっていうのを資料上ちょっとわかりやすく、何かたどっていったらわかるのかもしれないですけど、
2:46:43	資料上いろんなところで、
2:46:45	このデータはどこのどの範囲なんだろうって思うようなところが、
2:46:48	よくあったように思うので、ちょっとそういう目で見直して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:46:53	その地点をちゃんと書いて欲しいということですけどよろしくお願ひします。
2:46:59	先ほど川田さんからですねスライドごとに変更点をしっかり説明するようにというご指摘もいただいております同じこと、あと総括のページはその辺の手続き上にはなってるんですけども、ちょっとその辺見やすさの観点で不親切なところもありましたので、
2:47:15	単独のページでちゃんと判断できるように、青木嵯峨工夫させていただきます。
2:47:23	規制庁の甲斐です関連してっていうか今地点の話で、これも資料構成の話かもしれませんけど49ページ。
2:47:34	2地点で今回新しく調査をしましたと。
2:47:38	後ろのページ見るとはぎ取り上部とかカブとか、あと上流が、
2:47:43	上流側の島と下流側露頭とかいっぱい出てきてるんですけど、
2:47:48	この49ページ見るとこう。
2:47:50	その位置関係がわからないんですね。露頭って書いてあるところで、
2:47:55	この辺りはもうちょっとこう、
2:47:57	なんかクローズアップするかなんかして、位置関係とかをわかりやすく示していただきたいので、
2:48:05	よろしくお願ひします。
2:48:08	あと、
2:48:11	63ページなんですけれども、
2:48:16	これも資料上の話かな。右下の※書きのBF1の1項のボーリング柱状図コア写真は、
2:48:25	P57にって書いてあるんですけど、57にはすそんな資料はなくてですね。
2:48:32	多分これ間違いだと思うんで、
2:48:37	適切なところを引用するように、
2:48:40	していただきたい。
2:48:41	他もちょっと細かい、こういったところ間違いがあれば、適正化しておいていただきたいのでお願ひします。
2:48:52	当然ご指摘ありがとうございます水申し訳ございませんでした適正化させていただきます他の部分についても、もう一度チェックさせていただきます。
2:49:17	規制庁佐口ですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:19	ちょっと今の 63 ページの話が出たんで、私もこれ何て言うんすかね。お願いなのかどうかわかんないんですけど、
2:49:29	当然今回、このBF1 地点って、
2:49:34	要は評価として、十条図とかそういう、
2:49:38	見直しですよ、評価を変えられたので、さすがにこの 63 ページの、
2:49:44	右下の箱書きの、
2:49:46	あるように、これW37 号っていうのも、
2:49:50	御社当然これ根拠にして変えているので、
2:49:53	さすがにこれ、
2:49:55	大南甲斐氏、審査会合の資料幾つに、
2:49:59	じゃなくてですね。
2:50:01	一応今回の資料としてこれ載せてもらえませんか。
2:50:09	はい元田承知いたしました。柱状図コア写真、追加させていただきます。
2:51:01	規制庁佐渡です。ちょっと細かいことを幾つか幾つかと言いながら確認させていただきたいんですけど。
2:51:09	ちょっと冒頭新居少しいろいろ確認をさせていただいたんですけど、56 ページとかで、
2:51:18	礫形状の話なんですけど、
2:51:22	マツスエの方からもいろいろあって何か
2:51:25	平均値とかじゃなくて
2:51:27	一つの案だとかっていう話もあったと思うんですけど、これ、何かすごく純粋なというか
2:51:34	質問なんですけど。
2:51:37	名だ、右、
2:51:39	アクレキっていうのが多分
2:51:42	ごめんなさいね私はあまり知識ないだけかもしれないですけどどっちかっていうと角ばってて、円から円礫っていうのが0。
2:51:50	なんじゃないかなと、そういうイメージなんですけど、何かですね、下の9 球形度を見ると、
2:51:59	これなんか球形度っていや、だから要は、どっちがどっちかじゃないですけど00 に近いような形だと思うんですけど、なんでこれ学歴の方が、
2:52:10	平均なんで、何とも言えないかもしれないんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:14	円礫。
2:52:15	に比べてこの数字が高くなってるのが要はその0に近いってこれ、
2:52:22	感じだと思うんですけど、何かそこって、
2:52:25	ごめんなさい私の勝手なイメージだけかもしれないんですけど、何かちょっと逆転してるのかなとか一瞬思ったりするんですけどちょっとその関係を教えてもらっていいですか。
2:52:37	はい。です。土肥勝さんおっしゃってるのは、下のグラフの横軸の話、平均値の話かなと。
2:52:45	思います要は黒いラインによる球形度のことをおっしゃっているかなと思います。
2:52:51	この値は1、日付が近いほど休憩に近いというパラメーターでございますが、
2:52:58	これから
2:53:01	んかというと、左にですね、
2:53:06	この米印の3番どうやって求めた数値かっていうのを記載しておりますが、
2:53:11	利益の単契、それから中計長計から近似的にですね求めた絵は、例えば高さの比率だけ。
2:53:21	ノギスで測れるような値だけを使って算出した球形度が、
2:53:25	この下のグラフの横軸、
2:53:28	でございますので、角張っ企業がですね悪かろうが、このパラメータをだけ使うとですね、
2:53:36	差が出ない、むしろ逆転もあり得るというパラメーターです今回CTを使ってですね、
2:53:43	球形度のもともとの定義というのが、
2:53:47	利益の堆積、
2:53:49	はい。
2:53:51	木野米印の4番にございますが、同じ体積の球体の表面積を表面積で割ったものでございます。
2:54:00	これは何かという、その縦横高さだけではなくて、
2:54:04	表面の凹凸が関わっているか、ツルツルかというところも反映したパラメーター
2:54:11	やっぱり見て比べてやると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:13	状況が逆転しているのが、違いとしてご確認いただけたと思います。グラフで言うとですね下のグラフの縦軸。
2:54:21	です。
2:54:24	この下のご夫婦横軸方向にはですね、右に行くと、例えば高さの比が1対1対1に近い。
2:54:32	1に近づいていく。
2:54:35	縦軸は、一対一に近いもの。
2:54:40	かつ、表面が丸まっているもの。
2:54:43	滑らかなものほど1に近づくというパラメーターの違いでして、
2:54:48	これ
2:54:53	学歴等円礫の違いとして、
2:54:57	反応しているのが、こちらのパラメータになります。
2:55:01	ちょっと説明長くなっちゃいましたけど
2:55:04	この横時空方向の平均値ですね立場、逆転しているというのは、
2:55:10	単純に、3時空だけの結果で求めた球形度だからってというのが答え。
2:55:19	はい。
2:55:20	規制庁佐口です。なので、
2:55:24	私がイメージする、丸っぽってというのは要はその縦軸の方を見ればよくて、
2:55:32	だからそう考えると、
2:55:35	微妙ではあるんですけど、一応塩円礫の方が、
2:55:40	平均としてはちょっと高くなってるんで、
2:55:43	まああのより0に近いですよ。で、
2:55:47	横軸はちょっとそれはあくまでも車員の方なんで、何て言うんすかね。
2:55:53	どっちかっていうとあんまり0か0じゃないかという話。
2:55:58	になると、
2:56:00	むしろちょっと。
2:56:02	違うかなっていうそういう理解でいいんですかね0は0なんですけど何て言うんすかね。そのパラメーターの関係で、
2:56:14	0じゃなくてもう、この
2:56:18	球形度が、
2:56:19	高い場合も出てくるっていうそういう理解でいいんですかね。
2:56:25	はい宮本です佐田さんおっしゃる通りです。パラメーターの特性上そういったものも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:34	0じゃないものも0として表現されているんだけど、3次元的に見て縦軸方向に見ていると。
2:56:40	違いとして出ていると。
2:56:42	この縦軸と横軸の相関関係が一つポイントかなと思っておりまして、要はこの縦軸方向の中には、表面がごつごつかという観点と、
2:56:52	縦横比、あと横高さの比が一對一に近いかと、この二つの要素が入りますけれども、
2:56:59	縦高津塾と横軸の相関関係を見ると、青の方が相関関係が高いに対して、緑の方が低いというのがぱっと見、ご覧いただけるかと思います。その辺り左の
2:57:10	箱書きの中に書いておりますけれども、
2:57:13	要は滑らかなが、要素が反映されているのが、
2:57:21	左側だという結果が定量的にやられたというものです。
2:57:26	はい。規制庁佐口です。わかりましたありがとうございます。ごめんなさいね。細かいことについてで事実確認だけなんですけどもちょっと前に戻って30。
2:57:36	9ページとか今日少しいろいろ、
2:57:39	確認事項ありますけど、ありましたけど37ページとか38ページ39ページで、
2:57:44	この地形層序解析はされたんですけど、結局、
2:57:50	結果として39ページの、
2:57:53	分布高度って、結局その特に、
2:57:56	いわゆる価格面の括弧内ですよねこの数字が変わったことは変わったと思うんですけど、結局な今までと、今回と何がどう、
2:58:08	違うっていうか、変わって変わることによってこの分布構造っていうのが変わったのか、っていうのをちょっと教えてください。
2:58:21	はい井元です先ほどカイダさんからご指摘をいただいた37ページ。
2:58:30	B F 4 地点の周りのS T P G B F 2 だとか、御前崎礫層、
2:58:39	御前崎面層と、
2:58:42	を読むか読まないかの違い。
2:58:45	です地形判読に使っているエリアの違い。
2:58:50	それから対象としている地層の違いは、
2:58:54	39ページの括弧書きの中の数値の
2:58:58	違いとして表れておりますので、そこもご指摘、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:03	いただいておりますが、与条件が違うからだというところがわかるように、
2:59:10	見直させていただきます。
2:59:14	はい。規制庁佐口です。わかりました具体的に言うところから、見てる範囲がちょっと前回までと、今回はちょっと変わりましたよと。
2:59:22	いうことを、一応受けとめましたので、
2:59:27	あと、この間ね細かいことを続けて、結局 40 ページで、
2:59:31	前回この
2:59:34	河成ですね。赤破線に相当するものって、前は、
2:59:39	笠名面、
2:59:42	されたと思うんですけど、これ、京松原砂層城面に与えられたことに、どういう意味があるのかっていうのをちょっと確認させていただいたんですけど。
2:59:56	はい。あと先ほどの岡田さんのご指摘聞い
3:00:00	もいただいておりますが、
3:00:03	従来はですねこの赤線を B F M の隣の、
3:00:09	近くにあるです笠名ね相当層相から線を引っ張っていて、要は我々が笠名なあ。
3:00:17	に相当するので評価して、
3:00:21	寄贈から引っ張ってありました。
3:00:24	そうするとそこの要件が正しいのかというところまで、
3:00:29	ことになってきますので、今回は、
3:00:33	確実にですね牧ノ原面という、まず 6 でもうたわれているような地点、比木 2 地点、
3:00:42	なおかつ海成層と松原砂層が海成層のトップになりますので、その点から引っ張った、
3:00:51	いう規則隆起的過程の購買に見直したと。
3:00:56	いうものでございますのでより、より確からしい。
3:00:59	確かにそれがちゃんと担保されている。
3:01:02	周辺の地層の情報から、考察を行ったと。
3:01:08	いうものです。
3:01:12	はい。瀬口です引き続きなんですけど、
3:01:15	最初の方に私少し確認させていただきましたけど、結局 59 ページとかこれ、御社の中では結構重要視されてると思うんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:26	その前に、
3:01:30	58 ページとか、
3:01:33	結局いろいろ調べて、中には
3:01:38	現世種による汚染と考える。
3:01:40	ものがあるとかってというのがあったんですけど、結局、こういうものの判断、つまり
3:01:49	いろいろ 59 ページでいろいろ分けてるんですけど、全部、今回の追加の検討も含めてプロット自体はされてるって話なんですけど、
3:01:59	でもそのプロットの中でも、
3:02:02	実際にはこう、
3:02:05	分類する上で使ってるものと使っていないようなものと、多分あるんじゃないかなと思うんですけど、その辺りって、もう少し教えてもらって、
3:02:17	でいいですか何か今なんかあんまり使っていないのは、
3:02:21	ないようにも見えたりやでもは、58 ページで、この 100100、
3:02:28	37 は何か使ってるのか使っていないのかもよ、実はよくわからなくて、
3:02:34	そのあたりちょっともう少し教えてもらっていいですか。
3:02:41	はい、森本です。
3:02:45	花粉のデータに関してはですね使っていないデータというのは、今回 58 ページで示しております 137 個出ている層準だけでございまして、
3:02:57	B F 1 地点、それから比木地点の花粉分析が基本的には、
3:03:04	データ D たはすべて採用して、花粉層状の検討を行っております。
3:03:11	今回
3:03:13	違う年代の地層だというご説明させていただいたところは当然、
3:03:19	使ってはないんですけども、それ以外のデータというのは、基本的には採取した、
3:03:26	データをすべて採用しておりますんで、その理由なんですけれども、基本的に今回 58 ページ載せているの露頭から採取した資料になりますが、その他の資料、すべてボーリング
3:03:38	A 採取した資料。
3:03:40	分析結果でございまして、外部からのコンニューみたいのも、排除できると。
3:03:47	いう担保が取れておりますので、そのまま採用しているというものでございまして。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:56	はい、規制庁サービスわかりましたなのでこの 137 以外は基本的には使 ってるってことなんですけど、その一方で、ここに書かれている、
3:04:06	末とか、未満足氏族が主体であるとかってありますし、この後見ていく と何か
3:04:14	反応機が認められるとか認められないとかってというのが何かそんな話も あったと思うんですけど。
3:04:22	一方で何かデータ集。
3:04:25	データ集の 58 ページですよ最後 2 ページ、これなんか見ると、
3:04:31	何か、確かにここ数は多いかもしれないんですけど、例えば、割合で見 たら、
3:04:38	例えば、③とか⑥って、
3:04:42	何かこの⑤っていうのがその 137 号のところですよ。何か割合で見 るとおんなじようなふうにも見えなくもないんですけど、この違いって結 局、
3:04:53	何なんですかね。
3:05:17	はいです。要は分母を 130 にとって、
3:05:22	持つ、
3:05:24	新しいもんあると。
3:05:26	それは他の地層と変わらないんじゃないかっていう、そういうご指摘で しょうか。
3:05:33	はい。佐口です。もうそういうことですね絶対数で見ればそれは確かに 何か、この 137 である 005 のところが多いかもしれないんですけど。
3:05:43	相対的なだから割合として見ると、
3:05:47	たださ、先ほどおっしゃったそのなんていうんすかね。トータルのを分 母にして、
3:05:52	終わったら何か割合としては何か同じようになるような気もするんです けど、それでお聞きしたのはその差 36 とか 35 という、
3:06:03	このところはちゃんと使っているんだけど、137 は使わないっていう、 これがちょっとよくわからなかったんですけど。
3:06:17	はい森元です。今回は⑤の花粉が出ている。それに対して、
3:06:28	ここの度だという考察を行っております。
3:06:32	で①から④、それから、⑥の層状については花粉が出ないと。
3:06:40	層準だということを語る上では、
3:06:43	ここに含まれている松尾区だとか氏族に関しても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:06:50	都丸郷と同じようにですね、後から、
3:06:53	ネコなんかで購入したものだという可能性は否定できないと考えておりますけれども、
3:07:01	非化石であることを評価する上では、ここのあるなしのところが、影響するものではないと。
3:07:08	いうふうに判断しております。次、⑤の層準に関しては、
3:07:13	こういった
3:07:16	他の層準と同じようにですね、変化つきがどうかという目で見たときに、
3:07:22	カフェが良い多く出てるように一見見えるんだけどその内訳を見ると、聖書が多く含まれているという結果ですのでこれ花粉が後から入ったもので、
3:07:35	もともと入っていたダイセキの花粉としては少ないんだという、
3:07:39	ところをがですね説明したかった内容です。
3:07:46	はい、佐口です。なので多分今森本さんがご説明いただいたようなことが、多分ですね、本編の
3:07:54	58とか59辺りに多分書かれてないんで、この数だけとか、こういう書かれ方を今58ページに示唆されるとですね、どうかなと思うので、そこはちゃんとですねわかるようにしていただきたいと思います。
3:08:13	はい冒頭ニシキさんからもご指摘いただいた件も絡んでくると思いますのでその辺りは対応させていただきます。ありがとうございます。
3:08:57	規制庁ニシキです。
3:08:59	まだちょっと細かいってところ聞きたいのはまだルーことはあるんですけどもちょっと時間も時間大分過ぎてし、かなり超過してしまってますので、
3:09:10	すいませんもう一つ、今日、出していただけてます品質確認の方の説明を少ししていただきたいんですけども、よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	についてコメント回答の資料をご説明させていただきます。
0:00:04	2 ページご覧ください。一番下、
0:00:07	第 1041 回審査会合 2020 年 4 月 15 日におけるご指摘事項ということで、記載すべき数値に関する T H A I の認識ミスに伴う対応間違いと、
0:00:19	ということでコメントを記載させていただいております。古地磁気分析結果の誤りに関しては、事象発生の原因究明と再発防止策について、現状の内容ではまだ十分な説明がなされていないため、
0:00:33	適切な原因究明、実効性のある再発防止策のさらなる検討を実施した上で、改めて説明すること。
0:00:40	というコメントをいただいております。
0:00:43	3 ページお願いいたします。
0:00:46	3 ページに、この対応間違いについての経緯を表形式で記載させていただいております。もともと、第 443 回、2017 年 2 月、
0:00:57	17 日の時点で B F 4、B F 1 a 土 1960 の模式地との比較ということで古地磁気の計測データを初めてここで掲載をさせていただきました。
0:01:11	その後、第 654 回の審査会合の時点で模式地点を土の 1960 から比木 2 地点に変更しましたと。
0:01:22	ということでここでコメントとしまして比木 2 地点においても、B F 4 B F 1 地点間の対比項目と同等の分析を実施した上で対比を検討することと、
0:01:32	いうご指摘をいただきました。その後、ヒアリングの方で、資料の方を修正して参りましたが第 106 回のヒアリングの時点において、近似性の試験をまだ実施中であると。
0:01:47	ということで表は追記まだできていなくて、このときに、比木 2000 - 古谷泥層の分析を追加しているが古地磁気分析については記載がなかったもので結果をいつ頃出てくるかと。
0:01:58	いうご指摘いただきまして 3 月上旬頃に出てきますということで比木 2 地点の結果の記載も検討いたしますと回答し、よく 107 回、2019 年 3 月の段階で B F 4 B F 1 匹の 3 地点、
0:02:13	この古地磁気計測データを併記いたしましたこの時点で、自然残留自家共同の違いが、10 のマイナス 3 乗、違うという誤った記載を発生させてしまったと。
0:02:26	ということです。層厚の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	コメントとしまして古地磁気について残留磁気強度の桁が変わるんだけど問題ないのかというご指摘をいただいておりますが、距離が離れてるからこういうこともあり得るといような回答をして、
0:02:42	そのままずっと誤った記載がずっと継続してしまったという、いう状況でございます。
0:02:47	下の方進んでいただきまして、第 147 回 2021 年 12 月 22 日のヒアリングにおきましてニシキさんから古地磁気について、シュミットの有賀 95。
0:03:01	プロット入れていただいた方が確認しやすいので検討いただきたいというご指摘もいただきましてこの辺りの間違いに気づくチャンスというのはあったんですが、まだ気づかずに最後、
0:03:13	第 1035 回の審査会合の前に、提出に先立ちまして再度過去分の資料も品質確認する中で、セルフチェックにおいて、
0:03:23	金引地清の残留磁気強度方向の単位の違い、誤記に対する対応の違いを確認し、資料提出に際し資料を修正するとともに、資料提出時に規制庁様に報告をしたと。
0:03:35	というのが流れでございます。
0:03:39	4 ページから、
0:03:41	原因究明と対策について記載させていただいております。
0:03:47	4 ページですが、赤い枠で囲ってあるのが主たる原因として評価したものの、緑が副次的な原因として評価しているものです。まず一番右上ですが一次データ作成時の原因としまして、
0:04:01	A と書いてますが、B F 4 地点 B F 1 地点の古地磁気計測の委託先等比木 2 地点の古地磁気計測の委託先は別の会社ということで単位が違った形で記載されていた。
0:04:14	というのがあります。そしてその差、セルフチェック時の原因としまして、まず主たる原因 B としておりますが、この引き抜き性の一次データの値の単位の定数が他のニッセンと違うという事実を見逃し、
0:04:29	比木 2 地点の一次データの数値をそのまま、B 用地 4 地点、B F 1 地点と同じように記載してしまった。
0:04:36	いう原因、副次的な原因としまして C としておりますが、この 10 のマイナス 3 乗ぐらいという数字に対して一次データに立ち返って確認することなく、
0:04:48	科学的技術的にこれが今回の差が発生し得るとい思い込みの評価を追記してしまったというところがございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	その下ですが今度、実際には経験法のライン外専門家にもチェックをさせております技術的チェック時の原因ということでこちら主たる原因リートしておりますが、
0:05:08	データの追加であったということで単位の整合性確認をセルフチェックしているのかという問いかけがおろそかになってしまった。
0:05:15	副次的原因としまして、思い込みの評価が追加さ、追記されていたこと、或いは自然残留磁気強度の値は評価に使っていなかったというところで、
0:05:27	批判的な目線でのチェックがおろそかになってしまったと言うことがございます。
0:05:33	最後全般チェックということですので最後の総合チェックする場段階において、減り主たる原因Fとしておりますが、D化データの追加であったということで数値の転記確認に注力しまして単位の正誤性確認がおろそかになってしまった。
0:05:49	ということです。
0:05:50	最後一次データに立ち返る機械装置ということで先ほどご説明させていただいた通りで、何度か規制庁さんからのご指摘というか確認がございまして、
0:06:01	その中で何度一次データに立ち返る機会があったというにもかかわらず、思い込みを払拭できずに一次データに立ち返ることができなかつた、というふうに原因を分析してございます。
0:06:14	5ページと6ページにそれぞれ、主たる原因等副次的な原因について、対策を記載させていただいておりますまず5ページですが、一次データ作成時の原因ということで、委託先で、単位が違っていたと。
0:06:28	いうところ、こちらにつきましては右側、対策としましてまず審査資料作成チームが医師会委託先に対して、一次データの範囲を既存データと合わせたもので提出するよう、
0:06:40	指示を行うというふうにしております。
0:06:43	その下ですが、2、セルフチェック時の原因としまして、1-2地点の一次データの数値をそのまま記載してしまったということで、資料作成チーム、
0:06:54	としましては、まず、セルフチェックの時点から一次データと単位も含め並べて確認した上で資料に転記するという対策を考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:06	次、技術的チェックの原因ということでこれら以外専門家の方が、問い合わせがおろそかになったというところにつきましては、指導のデータの地点数等を追加してデータを追記して、
0:07:19	資料を作成する際には、しっかりとその単位も含めた整合性を確認するとともに、
0:07:28	違いがある場合或いは同じようなデータであると、時について一次データにちゃんと立ち返った記載であるのかというのを資料作成チームに確認を行うというふうに対策を決めております。
0:07:41	その下ですが、全般チェック時、こちら単位の整合確認がおろそかになってしまったということでこちらは全般チェックのときにでも、一次データと下位も並べ含め並べて確認した上で資料への転記ミスがないことを確認すると。
0:07:55	いうことを品質確認管理チームの方で、徹底することといたしました。こちら、これらの対策について改めてCR登録した上で是正措置計画を立案し作成承認プロセスに反映を行ってございます。
0:08:10	6ページですが、副次的な原因の方も同様に、対策を入れております。まず、審査資料作成チームが、やっぱり思い込みの評価を追記してしまったこと。
0:08:22	或いはその下の技術的チェックのときにライン外専門家が、
0:08:28	批判的な目線でのチェックがおろそかになったということに関しましては私がグループ長として、データに対する思い込みを払拭するため、部内の懇談会の中で、
0:08:39	グループに対してデータ取り扱いの重要性について改めて啓蒙を行っております。
0:08:46	その下ですが、1ネタに立ち返る機会創出ということでこれは資料作成チームについて、ヒアリング等で資料内のデータについて事実確認がなされた場合は、
0:08:58	ヒアリング後に必ず一次データに立ち返り確認を行うということでこちらについても、CR登録した上で是正措置計画を立案し作成承認プロセスに反映を行ってございます。
0:09:12	今ご説明させていただきました対策について7ページに、今の品質保証体制の中に緑の字で織り込んでおりまして、左側、
0:09:23	の資料作成承認プロセスの中で、反映した上で、万が一この後、また、ミス等あれば是正措置プロセスの方、右側の赤い方ですがこちらで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:35	C R登録してP D C Aをしっかりまわして、反映してミスのない治療を、
0:09:43	作成するように努めて参りたいと思います。
0:09:46	8 ページ以降は、先ほど、時系列で書いた3 ページの中のそれぞれの会の資料と、詳細について添付してございます。説明は以上です。
0:10:01	はい。規制庁ニシキです。説明ありがとうございました。ではこちらの方から何か確認すること。
0:10:08	あればですが、
0:10:24	あ、すみません、ちょっと画面の外に出ちゃってるんですけど規制庁、鈴木です。
0:10:29	ちょっとこれももとの前回の会合も含めて、もともとの経緯が今回所見になるんですけど、
0:10:36	今回だけあれですね。残ってるの古地磁気分析結果の誤りのところについては、前回不十分だったということで今回この資料になってるんですけど、
0:10:45	すみませんちょっとぱっと見てその3 ページ目だけで、どういうことが起きていたのかを、わかるようになった資料になっているのかという点でなんですけど。
0:10:55	まず443 回のところが、これ、自然残留時期、
0:11:02	時価強度は数値のみ記載って言っていて何か最後見ていくと、何か単位間違いの話なんで、この時点では資料のところには単位の記載はない方も裸で数字だけ書いてありました。
0:11:15	ていうことなんですかね。それを見ていくと、これは当時の資料というのは何ページ目になるかというと、
0:11:24	T9 ページ目になるんですかねなんかほとんどあの画像がかすれていて当時の資料読み取れないんですけど多分会合に出されるのであればもうちょっとこう、画質良くしないと。
0:11:36	当時のものが、
0:11:38	ただ数字のみ記載ってあれでも数字の三木さんの家判読できないんですけどこれは、
0:11:42	下の赤く枠で囲ってあるところの、
0:11:46	なんかほとんど見えないな。
0:11:48	何か画像が、も財源になってるんですけど、一番右側でその視察が深くへん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:57	ちょっとこれ、この赤で枠で囲ってあるところって、何かぱっと見ると、
0:12:04	ペーパーM。
0:12:06	て書いてあるように見えるんですけど、
0:12:09	これ単に書いてないってこれ数字だけ書いてあったってということなんですかね。なんか、あとうちがよくわからないんですけど。
0:12:16	はい。中部電力天野でございます。今鈴木さんからご指摘あった9ページですが、この時点では、先ほどご説明した通り土の模式地、
0:12:27	との時価強度の比較ということで記載してありますのでこの時点において間違いはございません。ワンペーパーめいたというところで、同じようなレベルでありましたと。
0:12:40	いうところでございます。ごめんなさい。質問は、
0:12:46	すぐ単位のみ記載って書いて、2、二、三ページに書いてあったんで、
0:12:50	それ数値のみ記載って書いてあったんで、ここは数値のみで単位は書いてなかったんですかっていうと今単位は書いてあったんですよ。
0:12:58	と当時も単位はあったんですが、これ443回と。
0:13:08	9ページの数字は、数値のみ記載と書いていて同上同上とって、誤った記載の継続って一番最後の下から2番目で、単位の間違いですっていうふうに書いてあるので、
0:13:21	ずっと数字だけの中で書いてあって初めて単位を変えたのはいつですかっていうことを聞きたかったんですけど、見ていくと最初から単位が書いてあるようにも見えたんで、9ページ目とかですね。
0:13:32	どういう意味かなあという、それだけなんです。
0:13:36	はい。中部電力浜でございますすいません。中身がよくわかりましたちょっとこの9ページ以降の記載が、わかりにくいというか、おかしいんですけど、ここで言いたかったのは、間違えたときに、比木2地点というのは、
0:13:52	ですね。
0:13:55	13ページをご覧いただいてよろしいでしょうか。
0:13:59	13ページに記載しております通り、10のマイナス3乗間違えたときに、さらに、
0:14:09	B F 4 と B F 1 地点は比較的近距离に位置しているのに対し、比木2地点は遠方に位置していると、というようなことを追記をしたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:20	ということが、ここから間違いとして記載しているんですが、9 ページからのときはそういった違いを書かずに、
0:14:30	値を書いていただけてこの数字がどういうものかということの記載をしていないという意味で数値の記載のみと書いてます。ちょっとわかりにくいので、
0:14:41	そのあたりわかりやすい表現に変えさせていただきます。わかりましたそういう意味での数値のみってことですね。はい、わかりました。
0:14:49	次がですねヒアリング費第 107 回のところで、
0:14:56	この自然残留自家強度の違い括弧カップのところ、
0:15:01	G-3 程度の違いって言ってこの程度というのは、3 桁程度っていう意味の程度なのか、いやその程度のことですという意味の程度なのかこれは、
0:15:12	3 桁程度なんでピタリ 3 桁じゃないっていう意味なんですかねこれ。
0:15:19	Web 電力ものでございますはい
0:15:22	10 のマイナス 3 乗というその単位の間違いであと、その上の数字が多少違うので、程度という記載をさせていただいております。ありがとうございます。ありがとうございます。はい。
0:15:34	であれば、その通りで結構です。で、
0:15:38	この最後誤った記載と対応って書いてあって、誤った記載というのはまさしくその桁の町が桁というか黄色がつくのかどうかの間違いなんですけど、この
0:15:49	対応っていうのは、誤った記載誤った対応と両方にかかるんですよね。
0:15:54	誤った記載わかる誤った対応っていうのはこれ後のところに行くところの時点での誤った対応というのは具体的に何なのかっていうのは、
0:16:03	どこを見ればわかるんですかね、後段のところを見ていくと。
0:16:10	はい。チームリーダーぬかもでございます。誤った対応というのは先ほどご説明した、13 ページにあるように、一次データに立ち返ることなく、
0:16:23	こういった事象が距離が離れているから、ありえますよというような記載を追記したということが、誤りだという。
0:16:33	ことで記載をさせていただいております。ちょっとそこははっきりわかるように、記載を改めさせていただきます。
0:16:41	はい何でこういうのやる時どの時点でどういう間違った対応したので、そこをどう潰しにいけますかっていうことだと思いますんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:49	こう書かれるのであればちゃんとその誤った記載とは何で誤った対応だ なんでってというのは、すいません、はっきりわかるようにしていただ ければなと思います。
0:16:59	で、その意味でいくと下でいって最後は何で 1035 回のところで、
0:17:06	単位が間違っていましたということで、
0:17:09	あと 5 ページ目のところなんですけど、単に結局別の委託先にやって委 託先ごとでキロをつけるかつけないかで、やり方が違いますというこ とで、
0:17:21	これ一次業者のところには、これもあくまで、
0:17:27	本件に特化して、同じようなことであれば単位を、
0:17:33	ご提出するよう指示を行うでいいんですけど、今回はこういうことで した、別のことがないようにって意味で、ほかに何かこう、
0:17:42	委託先に対してこれだけを求めますっていうと、じゃあまた次別の事が 起こったら、また別のことをまた求めますっていうように見えるん ですけど。
0:17:52	これは今回起こったのは 3 桁の間違い切ろうかつけるかつけないかの 間違いなんですけど、
0:17:59	別にナカタん以外では間違い起こりえませんかっていうことなん ですかねそういうわけでもないんですかね、ちょっと今回この件だけ。
0:18:06	コメント回答になってるので、別にそういう趣旨ではないんだ と思いますけど。
0:18:12	はい中部電力浜野でございます。これは一つの事象としまして C D - R 登録して Q M S の中に織り込んでおりますので 7 ページに記載させて いただいておりますが、インプットアウトプットの整合性を、
0:18:26	委託先に指示するときに、
0:18:29	資料全般に対してこういった対応を行うという意味で記載させてい たいております。
0:18:36	わかりましたであれば特に。はい。
0:18:39	あとちなみに上ロック月に行って何回かヒアリングだと審査会合出て まして、たまにこうヒアリングの場で、いや、ちょっとこういう資料が ないと審査会合で議論にならないよっていうところで、
0:18:52	それは当然直して出し追加して出していただくんですけど、特にヒア リングの場であまり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:57	議論になっていないようなところで、実は審査会合の資料になると、その他記載の適正化とあって、ちょちょこっとなお、
0:19:06	出るものがあるんですね、別にそれがいかんと言ってるわけじゃないんですけど、
0:19:10	ただ、今回のこのセルフチェックとか品質管理チームとかっていうのを見ると、
0:19:14	何なんていうか何段階かチェックして特に天気ですね数字の転記とか、
0:19:20	正単位とか、ここの転記誤記の有無とかってこうセルフチェックが働くて、
0:19:25	我々の方に出てきますというようになってるんですけど。
0:19:28	ここは審査会合の資料は、我々ヒアリングの段階のものと審査会文化なので最終的に会合の場ではしっかりとしたもので議論ができています。
0:19:39	かもしれないんですけど、ヒアリングの場と審査会の場っていうのは、とりあえずヒアリングの場ではもっとスピード重視でまず出してみても、実はそのあとに品質管理チームが裏でチェックをして、
0:19:50	会合までに記載の適正化をしてるとかっていうそういうやり方なんですかねちょっと単なるこれ素朴な疑問なんですけど。
0:19:59	中部電力天野でございます。ヒアリングでもこのQMS体制をしっかりとっているつもりで当然やってはいるんですが、
0:20:09	今鈴木さんおっしゃられた通り、スピード感っていうのもありますので、
0:20:15	かけられる時間というのが少し短くなってどうしても間違いが発生してしまってお迷惑をおかけしていると。審査会合までにはそういったものをしっかりと
0:20:26	拾い上げて、科学的に技術的に間違いのない審査資料に努めて参りたいなというふうに動いているところでございます。すいません。要は、ヒアリングの前にも、これは、
0:20:40	一応回ってはきてこの資料提出っていうところに、
0:20:43	至っているんですね。はい、柴山です。まわしております。わかりました。
0:20:49	すいません。私から以上です。
0:21:00	規制庁ニシキですけれども、私はもう1個だけちょっと書き方で気になったところがあって4ページ目のところとかで、
0:21:10	もう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:11	事象発生てる原因のところをよく
0:21:15	右側の、
0:21:17	上から三つ目の四角緑四角のところですけどもこの中に、科学的技術的に、今回の差が発生し得るといふ思い込みの評価を追記し、
0:21:28	思い込み評価を追記したって書かれていて、
0:21:31	まず科学的技術的に今回のような発生がし得るといふようなところで、ちょっとこの科学と技術が並列に書かれてちょっと気になってしまって、
0:21:41	科学的には、今回の差発生し得るっていふのは、その通りだと思ふ。例えば、
0:21:47	レーガンだと、その自家強度が高くて、火山岩なんて最初確定ガラスだと少ないとかそういったことが、あるので科学的にはそういう差は生じるってことは
0:21:58	わかる一方で、この技術的って意味がちょっとどう読むかによって、測定限界として、装置のやつはそういう技術的測定限界として、この差あるんだといふのはそれはもう全然、
0:22:10	だから、ライン外専門外がそういった専門知識がないといふふうに見えてしまうので、その辺ちょっとどうなのかなといふふうになってしまっても施工者の方であれば、結構これ致命的なので、
0:22:22	その辺りどうライン街宣かって方々がどこまでそういう技術的知識のところまで、他装置とかですなそういったところの、
0:22:33	ここまで理解されてる方が入ってくれてるのかなっていふのが少し気になったんですけども。
0:22:40	具体的にこのライン外専門家といふのは、結構そういう、
0:22:44	実質コンサルのOBの方だとか、そういう業者の人だとかそういった方々を基本ライン外の専門家にするかそれとも御社の中でそういう、
0:22:55	専門家集団が行って確認しているのかっていふのをちょっと確認したいんですけども、いかがですか。
0:23:02	中部電力天野でございます。
0:23:06	当社の中の経験豊富なラインが専門家ということで、
0:23:13	特に嘘、すいません、そういう観点において地質の専門家という意味ではございませんで、ちょっとこの科学的技術的っていふ表現は、最後の
0:23:24	7ページ、7ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:28	すいません科学的技術的内容に間違いなし、審査資料というところにつなげる意味で、同じ表現をさせていただいただけで江藤ニシキさんのおっしゃられる通りちょっとこの部分では、
0:23:41	おかしな意味になってるので科学的にだけにさせていただいて技術的にっていうところは、
0:23:48	修正させていただきたいと思います。
0:23:52	規制庁ニシキですが、多分おそらくその価格的には十分あり得るんだろうなって思い込みでまずされたんだろうなとは思いますが、思っていたんですけども技術的ってというのがあったんでちょっと気になったところでちょっと確認させていただきました。
0:24:16	すいません土佐鈴木でさっきのC、今Cのところだけちょっとお話しさせていただいたんですけども、都築の丸井のところもですね、同じように、科学的技術的って書いてね。
0:24:28	と、あともう1個、Gか、ここ、ここ、要はこのページのところの科学的技術的っていうのは多分並列はちょっとどう、おかしいんじゃないのかなというところでちょっとその辺、適正、
0:24:40	事実をきちんと書いていただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:24:46	中部電力天野でございます。おっしゃる通りですので、修正させていただきます。
0:24:53	藤規制庁サグチですけども、ちょっと先ほどの鈴キーの方の確認と、
0:25:00	同じかもしれないんですけどちょっと関連してですね。
0:25:05	やっぱり今日、
0:25:07	ご説明聞いていて、
0:25:10	すごいですね。
0:25:12	単位単位単位という形ですね。
0:25:15	何か単位という言葉が非常によく出てきたんですけど、
0:25:21	それはあくまでも今回の、何ていうんすかね。
0:25:25	こういう事例であって、
0:25:28	何か例えばですよ。
0:25:31	これ、これ4ページで、私これ主たる原因とか、副次的な原因とかってあるのもちょっと実はよくわかんなくて、
0:25:39	むしろこれ逆かもしれないとも思ったりもするんですけど。
0:25:43	例えばですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:45	単位は合っていました。でも数字が全然違いましたっていうようなケースの場合に、今のこの5ページなりとかって、
0:25:54	これ役に立つんですかね。
0:26:00	中部電力浜野でございます。数字については、7ページにお示ししている通り、今の品質体制でしっかり確認を間違いなくしてきたというふうに考えてございます。
0:26:13	今回もそこから超えてしまったのが単位でやるということで、さらにQMS上に追加させていただいたということで、
0:26:24	反対になっていることについては先ほど鈴木さんからご確認いただいたのと同じようにヒアリングの時も審査の時の数字は、特に間違えないようにっての、ずっと、
0:26:36	重視して対応してきております。
0:26:42	はい
0:26:43	佐口ですけども、正直言うと物は言いようで数字が合ってる合っていない、それって体も含めて当てられてないと私は思うんですね。
0:26:52	で100と1って一緒ですかっていう。
0:26:55	いや、違いますよねと。
0:26:57	100だって別に1の7、10、10の二条掛ける10の2乗って書けば別に100のだけの話で、
0:27:04	でも1と100だったら、当然違いますよね。
0:27:08	なので、
0:27:10	ちょっとその単位単位がもう、
0:27:13	よりもう本当に数字としてそれは単位も含めてなんですけどね、じゃあ、ちゃんと本当に、もともとのデータと合っているかどうかというのを確認するのが当然一番最初にあって、
0:27:24	たまたま、今回はそういった委託先に対して、ちょっとその、
0:27:32	発注先が当然複数あって、それぞれ返ってくるものの単位がちょっと違いましたよというのは、当然我々もそれはそこは理解してるんですけども、
0:27:45	それをじゃあ単位を指示すれば、
0:27:49	いいのかとか、それがしかも主たる原因なのかなと。
0:27:53	やっぱりちょっと思ったんですけど、いずれにしても、でもその、
0:27:58	大前提として、まず本当に、単位とかそういう云々の話じゃなくて数、例えば数値なら数値というのがちゃんと合ってるかどうかっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:08	確認は、もうまず、絶対的に行うというのが大前提ということで、
0:28:15	今、資料が、
0:28:18	書かれてるっていうそういう理解でよろしいですね。
0:28:22	中部電力浜野でございます。今佐口さんからご指摘いただいた部分について前回の審査会合においてご説明させていただいたと。
0:28:34	いう認識でおります。過去分も含めて、数字が間違っていたり、途中過程のデータが貼ってあったりといったところが課題となっていましたのでしっかりそれをQMSの中で取り入れて、
0:28:50	P D C Aを回すという、7ページのシステムをご説明をさせていただいておりました。そこをしっかりとやっている中で、またここの単位というところを忘れてしまったので、
0:29:05	前回の審査会合でのご指摘が、ここの部分が残っていましたのでそこにクローズアップした形の資料とさせていただいておりますが、QMSという意味では、7ページでしっかり、沢木さんおっしゃられる通り数字であったり、
0:29:22	いろんなズーだとかそういったものもすべてしっかり一次データから確認した上で、これ、それぞれのチェックを取って進めた上で、
0:29:34	対応していると、いうふうに説明をさせていただいております。
0:30:01	規制庁のナグラです。
0:30:04	サグチの方で一言あったんですが私もそのところが一番感度が大きくて、
0:30:13	5ページと6ページで主たる要因と副次的な要因って分けてるんだけど、
0:30:19	おそらく下類を、原因、主たる原因とその対策っていうのは、
0:30:24	あくまでも、
0:30:26	転記ミス。
0:30:28	が生じたことに対しての直接的な。
0:30:32	その転記ミスが生じてそれが継続してしまったことに対してそれを是正する措置として、どういう対策が必要かと。
0:30:41	いうことを、まず、
0:30:45	検討したと。
0:30:46	それで副次的な原因って言っていると、これが結構根が深くて、
0:30:52	これわあ、そういった転記店に対して解釈を加えて正当化してしまったんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:59	その転記ミスを、
0:31:02	そこにバイアスが強いバイアスがかかっている且つそのバイアスが、
0:31:06	複数の人間で共有化されて、組織のある程度の割合のところ、関係者が、そのバイアスで染まってしまったってということなんですよね。
0:31:16	ということは、これは会社の風土とか、
0:31:19	もしくは
0:31:22	こういう言い方するとちょっと幅が広がってしまって訳わかんなかったんだけど、安全文化とか、
0:31:27	そういうところに関係する部分であるので、そういう意味でちょっと副次的な原因と言われると、
0:31:34	差サグチと同じことを言いますが、
0:31:37	もしかしたら主たる4よりももっと大きな風土とか安全文化に関わる部分として非常に重要な部分じゃないですかというふうに言いたくなります。
0:31:47	ということで、
0:31:49	こちら辺のちょっと意識をもう少し、
0:31:52	明確化して、対策として書いていただきたいって話と、
0:31:59	あと、ただ単にこれし、
0:32:05	言葉を、
0:32:06	の使い方も誤ったぐらいかなと思うんですけど主たるように副次的な要因って言葉の使い方をちょっとやめていただきたいって話と、あと天田さんの方でグループ長として、
0:32:17	データ取り扱いの重要性について改めて啓蒙を行うということなんですけれども、
0:32:22	これに対して、おそらく何をやるのかってのはちょっと見えてこないんですけど、おそらくこういった風土を改善して、
0:32:32	バイアスを常態化させない。
0:32:35	バイアスに対して、要は悪い意味でのバイアスに対して、どういうふうに組織として、それを是正していくのか抵抗していくのかってところを、
0:32:47	どういうふうに啓蒙するのかってところですね、これ非常に難しい問題があるんですけど、少なくとも今回の件について失敗事例。
0:32:56	そして、これを広く認識させた上で、何でこういうことが起こったのかな、どこにその間違いがあったのかってことを、やっぱり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:08	組織内、
0:33:09	関係者で共有をしてこういうことはもう繰り返さないようにしましょう ということのまず確認が必要なのかなと思いますけど、ちょっとそういう 意味で、この副次的な原因っていうことに関してもっと根が深いとい うことを踏まえて、
0:33:24	どういうキーワードで説明するのかって話と、その対策としてどうい うことをやるかっていうのは、
0:33:31	こういう簡単な言葉で書いてるんだけど、実際、効果的にこれを対策と してやる場合にどうするんですか。
0:33:38	ていうのは会合で聞くかもしれないです。
0:33:42	ちょっとここら辺少しよく考えていただきたいなと思いました。以上で す。
0:33:48	中部電力浜野でございます。ありがとうございます。確かに、名倉さん おっしゃられる通りでちょっと副次的なっていう書き方は、よくないな と思います。もう少し適切な
0:34:00	表現を考えたいと思います。多分
0:34:04	動きっていうことに対する、主たる原因が赤い方でやってそうではなく て、そこをしっかりと、
0:34:13	直せなかったところか、その状態を維持してしまったというところの原 因になりますので、ここちょっと適切な表現を考えたいと思いますの で、
0:34:24	また私の方で啓蒙するっていうのも具体的にどういうことをやっていく かというところも、この辺りに追記させていただいて、しっかりとうち の
0:34:34	グループ員の中で今後資料作っていくときにこういったことが起きない ように、やれるという対策を記載させていただきたいと思います。
0:34:50	規制庁のナグラです。またちょっとここら辺は、資料にちゃんと表現を して、
0:34:59	また、これはどうするのかな。
0:35:03	ヒアリングで説明するのか介護で説明するのか、ここら辺はちょっと、
0:35:07	もう少し中身を詰めていただきたいなと思います。以上です。
0:35:15	中部電力浜野でございます承知いたしました。
0:35:28	慶長ナグラです。ある程度、今日、すいません私の方で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:32	ズバッとやってしまったところはちょっとあるんですけど、そういったところもちょっと踏まえてですね、中部電力として、もうヒアリングと かっていう話ではないと思うので、
0:35:43	会合ですね、会合の資料出していただいて、
0:35:47	ここら辺は少し
0:35:51	うん。
0:35:52	会合でまた、必要に応じて議論をしたいと思います。私からは以上で す。
0:36:00	武山ですけど
0:36:02	名倉さんのおっしゃってる
0:36:05	通りだと思ってまして、ちょっと表現があまりよくなかったですけど 我々も同じ考えで、これ主たるって書いてあるのは、直接間接っていう ことだけで、
0:36:16	福地、牛田重工副次的だからこれは楽だというふうに言ってるわけでは ありません。おっしゃるように直接原因と間接的な要因なので、
0:36:26	ある時の間接的の要因の方が根が深いと思ってます。
0:36:30	逆に今、C R登録をしての清野
0:36:34	QMSの中でやってきますので、そういう意味では、ちょっとどこま で、
0:36:39	会合でご説明するかはありますけどその中に入ってきましたように大き な文化的要因であれば、うちでいうと旧塩見担当してるところがいろい ろなところが出てくるところが繰り返されるっていうところで、
0:36:52	そういう部分を見ていくという形になろうかと思いますちょっとそのの 全体のところも含めて、もう少し踏み込んだ形にさせていただきたいと 思います。
0:37:01	社長の名倉です。わかりました。いずれにしても
0:37:05	言いたかったことは主たる要因って書いてるところの内容については、
0:37:10	これはある一定程度の効果は当然、
0:37:13	ある事象に対して原因を究明してそれに対して対策を直接打っていてそ れも多重に打っているので、
0:37:20	そういう意味でこれはおそらくある程度の効果はある。ただしこれは非 常に、それぞれの9、何ていうかな、品質保証をかなり重たくしている 原因でもあるのかもしれないんだけど、
0:37:34	これについては

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:37	P D C A サイクルを今後まわしていきますので、そういう意味で、これについてはあまり心配をしていなくてむしろ、
0:37:45	重要なのは副
0:37:47	6 ページの方。
0:37:50	これは、下手すると波及的影響が非常に大きい。
0:37:56	部分なので、これがアイアムこれをの大和誤ると、
0:38:01	取り返しのつかないミス判断に直接影響するようなミスを生む可能性があるので、これをどういうふうに改善していくのかっていう組織の問題だと思うんですけど。
0:38:14	ここら辺の話をちょっと、
0:38:16	よく考えていただきたいなと思います。
0:38:20	特に回答は要りませんが、よく検討していただければと思います。おっしゃる通りでここでずっと書かせていただきましたけれど、C R 登録をしてやってくってことは、C R 登録、ある意味で、
0:38:33	全社的ってか本部内の対応になりますので、ちゃんとオープンにして、ある意味で
0:38:40	そのデータの中の警部層の中のトレンド監視なり、そういうところも含めてやってくことになりますので、速水でそういうところで登録することによって、
0:38:50	そのグループだけではなくて経営部分も含めて今後もそのトレンドを見ながらやっていくという形にしてるつもりでちょっとここは書いてございます。以上でございます。
0:39:03	規制庁の名倉です。わかりました。ということは6 ページもC R 登録をしているので、
0:39:08	これはもうおのずと、何をやればよかったのはもう見えてしまってるのかもしれないですけど、そういう意味でここら辺はよく
0:39:18	今までの致命的な失敗事例とかそういったところも含めて、
0:39:23	スピリチュアルの部分ですけどもこれをどういうふうに啓蒙していったかっていうことだと思います。そういう意味で中部電力でも失敗事例たくさんあると思います。事故、事故、事故に相当するものとか、いろいろあると思うんで、
0:39:38	そういったところも含めて、そこに何かこう強いバイアスがかかってそういうことになって原因になっているものというものがもしあるとしたら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:48	それとあわせて啓蒙するのが多分効果的なんだろうと思いますけど、そういったところも含めて、
0:39:54	今後よく検討していただければと思います。
0:39:57	これ以上追っかけませんので、安心してください。以上です。
0:40:05	承知いたしました。
0:40:21	規制、規制庁のニシキですけども、
0:40:25	ちょっと今日いろいろ時間杯ぐらいの時間ちょっとなくなってしまってますけれども、ちょっと今まず、地質の方でいろいろごめん、確認させていただきましたけども、
0:40:37	その資料の修正っていうのはどれぐらいかかりそうな見込みですかね。
0:41:07	キヌカワものでございます。ちょっと、どう、どう、先ほどニシキさんがまだ確認したいことあるっていうお話があったんですけど、
0:41:19	基礎工なしで直して、
0:41:22	くるっていう感じでいいんですかね。
0:41:25	その大筋みたいなのところの方向みたいな、確認を進めさしてもらってますので、はい。そこは構わなくて我々の方としてはできれば、
0:41:38	来週中ぐらいに、
0:41:41	修正したものをいただければいいかなと思っているところなんですけども、その辺りも含めていかがですかね。
0:41:51	中部電力天田でございます。来週中、案を対応させていただきます。
0:43:23	規制庁ニシキです。
0:43:24	ひとまず来週中にできた時点で連絡をいただければと思ってます。
0:43:32	できれば25の週にはヒアリングとかはして、
0:43:36	今回集約中身を見てちょっと調整したいなと思ってますので、
0:43:42	よろしくお願いいたします。
0:43:47	新保鎌田でございます。
0:43:50	ヒアリングの日程を決めていただくというよりは、まず直ん修正できましたっていう方を優先すればいいっていうことでしょうか。
0:44:13	まずは規制庁ニシキですけどもまずは資料ができた時点で、ご連絡いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
0:44:22	承知いたしました。
0:44:28	はい。それでは木津ニシキですけども、ちょっと時間を大幅に消化してしまいましたけども、これで本日のヒアリングの方を終了したいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:38	最後中部電力の方から何かございますか。
0:44:46	中部電力天野でございます。津波堆積物の資料は一応整理はできましたのでまた、
0:44:55	谷さんにお先にお送りすればいいならまたそこも調整させていただきますのでよろしく願いいたします。
0:45:02	はい。
0:45:04	規制庁のニシキです。はい。それでは明日また調整の方をしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。それでは、すいません長くなりましたけどもこれで本日のヒアリングを終了いたします。お疲れ様でした。
0:45:16	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。